I-O DATA

WN-A54/LAN 取扱説明書

129290-01

【特徴】

■IEEE802.11a対応のメディアコンバータ

最高54Mbpsの高速転送で大容量ファイルの転送や高画質動画再生にも余裕で対応できます。

■有線環境を手軽に高速無線化

スリムタイプのデスクトップPC、Mac、ゲーム機、プリンタなど機種を問わず、Ethernetポートのある機器に接続することで既存の有線LANを高速無線LANに接続します。

■Windows & Mac両対応

Internet Explorerのブラウザからすべての設定をすることができるので、OSを選びません。Windows、Macintoshを問わずカンタンに設定できます。

■電源 & データを1本のケーブルで伝送可能なACユニット採用

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は日本国外では使用できません。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継機、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
7) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
8) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,PowerBook,Mac,Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
- その他、一般に会社名、サービス名、ソフト名、製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

もくじ ····· 1
必ずお守りください ····· 3
本製品で使用する電波について ····· 8
使用上の注意 ····· 10

まずすること

使う前に ····· 11
箱の中を確認する ····· 12
動作環境を確認する ····· 13
各部のなまえとはたらき ····· 15

セットアップ

設定用パソコンの環境設定をする ····· 17
①本製品を設定用パソコンと接続する ····· 18
②IPアドレスを設定する ····· 19
③Webブラウザを設定する ····· 31

アクセスポイントと通信する ····· 41
①アクセスポイントを設置する ····· 42
②アクセスポイントと通信する ····· 43

応用操作

無線LANアダプタのみで通信する ····· 47

①使用環境を確認する ····· 48
②無線LANアダプタのみで通信する ····· 49

他の設定をする ····· 53

暗号化する ····· 54
チャンネルを変更する ····· 58
本製品のIPアドレスを変更する ····· 60
インジケータの表示/非表示を変える ····· 64
現在の通信状態を確認する ····· 65

ファイルを共有する ····· 67

Windowsの場合 ····· 68
Mac OS Xの場合 ····· 88
Mac OS（Classic）の場合 ····· 97

その他

本製品を壁掛けで使う ····· 104
出荷時設定に戻す ····· 106
ファームウェアを更新する ····· 107
困った時には ····· 109
用語解説 ····· 114
仕様 ····· 117
アフターサービス ····· 119

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告及び注意表示

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味



この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例） 「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例） 「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順で使用してください。

警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。


分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因となります。

修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。


電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


発火注意

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- ●接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。指定品以外を使用すると火災や故障の原因となります。
- ●ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。


厳守

本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、本製品の取扱説明書をご確認になり、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから行ってください。

電源コードを抜かずに行うと、感電および故障の原因となります。


禁止

給電されている LAN ケーブルは絶対に接続しないでください。

給電されているケーブルを接続すると、発煙したり、火災の原因になります。


水ぬれ禁止

本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場などでの使用は火災・感電・故障の原因となります。


禁止

故障や異常のまま、通電しないでください。

本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外し、コンセントから電源プラグを抜いてください。また、絶対に通電をしないでください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。


禁止

本製品を病院内で使用しないでください。

医療機器の誤動作の原因になることがあります。


厳守

心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用してください。

電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。


禁止

本製品を飛行機の中で使用しないでください。

飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中ではコンピュータから本製品を取り外してください。


禁止

日本国外で使用できません。


禁止

本製品を屋外で使用しないでください。

法令により、本製品の屋外での使用は禁止されています。

⚠ 注意



本製品を使用中に、データが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

取扱説明書などで、操作方法を確認して操作してください。
また、故障などに備えて定期的にバックアップを行ってください。



本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力・電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●本製品の通風孔をふさぐような場所（保管は問題ありません）
- ●腐食性ガス雰囲気中（CI_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所（保管は問題ありません）



本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- ●落としたり、衝撃を加えたり、無理な力を加えたりしない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない


禁止

本製品のコネクタ部分には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。


禁止

パソコンから本製品にアクセス中にパソコンや本製品の電源を切ったり、リセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。


注意

本製品をハブに接続しないでください。

本製品はイーサネット機器と１対１で直接接続してください。ハブなどに接続すると正常に動作しなくなります。

本製品で使用する電波について

本製品は、5.2GHz帯域の電波を使用しています。
本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

・以下の近くでは使用しないでください。

・ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
・特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

・携帯電話・PHS・テレビ・ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください。

携帯電話・PHS・テレビ・ラジオ等は、無線LANとは異なる電波の周波数帯を使用しています。
そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信およびこれらの機器の通信に影響はありません。
ただし、これらの機器を無線LAN製品に近づけた場合は、本製品を含む無線LAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

・間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。

本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラス等などは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。
ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。
同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。

・本製品を屋外で使用しないでください。

法令により、本製品の屋外での使用は禁止されています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

使用上の注意

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては十分注意してください。

・取り扱い上の注意

- ・コネクタ部分に金属を差し込まないでください。
- ・ぬらさないでください。
- ・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与えることがあります。
- ・モータなどノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してお使いください。

・修理について

- ・本製品の修理は弊社修理センターにご依頼ください。
  改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

使う前に

ここでは、本製品を使う前の作業について、順を追って説明しています。

箱の中を確認する

内容物リストを確認します。

▼

12ページ

動作環境を確認する

本製品を使うことができる機種やOSなどを確認します。

▼

13ページ

各部のなまえとはたらき

本製品の各部のなまえとはたらきを確認します。

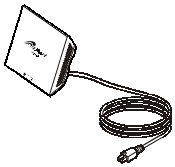
15ページ

箱の中を確認する

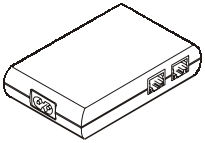
ご使用の前に以下のものがそろっていることを ☐ にチェックをつけながらご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

内容物

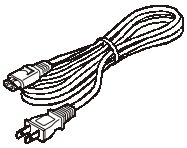
☐ ワイヤレスユニット（本体１台）



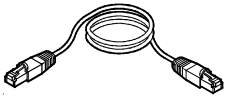
☐ ACユニット（電源部１台）



☐ ACケーブル（１本）



☐ LANケーブル（１本：約１ｍ）
※ストレートケーブル



☐ ハードウェア保証書（１枚）

☑ 取扱説明書（１冊：本書）

注意！

■箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。
■イラストは若干異なる場合があります。

参考

《ユーザー登録やサポートソフトのダウンロードについて》

ユーザー登録をする際や、弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にシリアル番号が必要な場合があります。
シリアル番号は本製品に貼られているシールに印字されている12桁の英数字です。（ 例： ABC1234567ZX ）

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

●ユーザー登録　⇒ http://www.iodata.jp/regist/
●サポートソフトのダウンロード　⇒ http://www.iodata.jp/lib/

動作環境を確認する

本製品と通信できる無線LAN機器（通信相手機器）
IEEE802.11a準拠の無線LAN製品と通信できます。 《弊社無線LAN WN-A54シリーズ》 ・無線LANメディアコンバータ「WN-A54/LAN」（本製品同士で通信） ・無線ブロードバンドルータ「WN-A54/BBR」 ・無線アクセスポイント「WN-A54/AXP」 ・無線LAN PCカード「WN-A54/PCM」「WN-A54/CB」 《弊社無線LAN WN-ABシリーズ》 ・無線LAN PCカード「WN-AB/CB」



注意！

■以下の弊社製品とは通信できません。
- **無線 LAN「WN-B11 シリーズ」**
- **無線 LAN PC カード「PCWN-W10」**
- **コードレスネットワークシンフォニーシリーズ「WN-S/560」「WN-S/PCI」「PCWN-S」**
- **無線スイッチングハブ「WNA-FSWH4」**

■弊社製電源延長 BOX「WN-OP/POW」は使用できません。

本製品の設定ができるパソコン	
機種	**OS（日本語版に限る）**
LANアダプタを使用できる下記の機種 ・NEC PC98-NXシリーズ ・DOS/Vマシン ※弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認しています。	・Windows XP ・Windows 2000 ・Windows Me ・Windows 98(Second Edition 含む)
LANアダプタを使用できる下記の機種 ・Power Macintosh ・iMac ・iBook ・PowerBook	・Mac OS 8.6～9.2.2 ・Mac OS X（10.1～10.2.4）



注意！

弊社では、【本製品の設定ができるパソコン】の OS でご利用いただく場合のみをサポート/保証範囲とさせていただいております。UNIX 系 OS や Linux などでご利用いただく場合はサポート/保証対象外となります。

設定に必要なソフトウェア

本製品を設定するには、以下のバージョンのWebブラウザが必要です。お持ちで無い場合は、別途ご用意ください。



Internet Explorer バージョン5.0以上

注意！

Internet Explorer のバージョン情報は、Internet Explorer 画面の[ヘルプ]→[バージョン情報]で確認できます。

本製品を使用できる環境

IEEE802.3(10BASE-T)またはIEEE802.3u(100BASE-TX)対応のイーサネットポート、ブロードバンドポートを搭載した環境で使用できます。

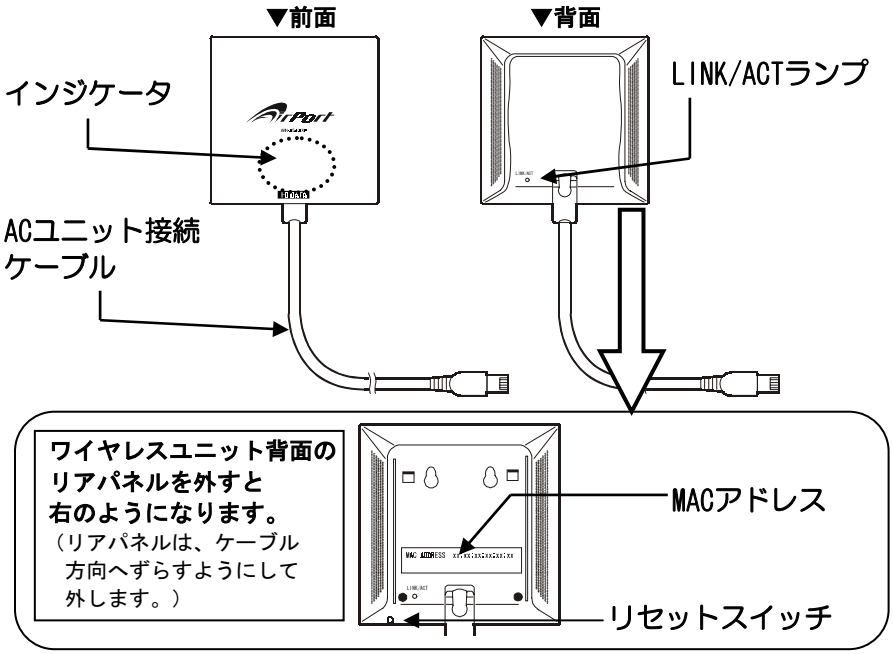
《使用可能機器の例》
・ブロードバンドポートを持つ各種ゲーム機
・ネットワークプリンタ、有線プリントサーバ
・NEC PC-9800シリーズ、Apple Macintoshシリーズ
(OSやブラウザのバージョン問わず)
・ネットワーク対応のハードディスクビデオレコーダ
・前ページの【本製品の設定ができるパソコン】

注意！

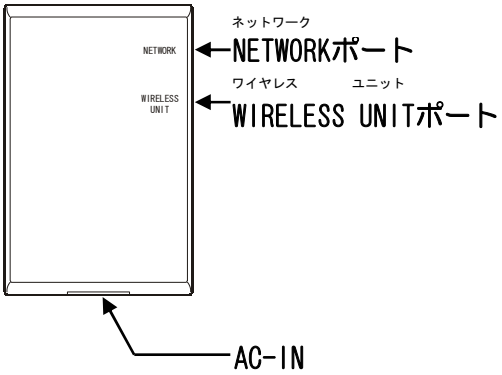
本製品はシングルクライアントです。上記【本製品を使用できる環境】と１対１で直接接続してください。ハブなどに接続すると正常に動作しません。

各部のなまえとはたらき

●ワイヤレスユニット



●ACユニット



名称	機能	
インジケータ	ピンク点灯	アドホックモードで運用中
	白点滅	インフラストラクチャモードで運用中 点滅の間隔により下記のような意味があります。 ・約9秒点灯→1秒消灯：通常状態(受信レベル良好) ・約5秒点灯→1秒消灯：通常状態(受信レベル中) ・約2秒点灯→1秒消灯：通常状態(受信レベル弱) ・約1秒点灯→9秒消灯：NETWORKポートに何も接続されていない、または接続している機器の電源が切れている状態 ・速い点滅(約0.4秒間隔)：起動中
	赤点滅	・約3秒間隔：無線LAN接続ができていない状態 ・速い点滅(約0.4秒間隔)：ファームウェアのアップデート中やリセット時
ACユニット接続ケーブル	WIRELESS UNIT ポートに接続します。	
LINK/ACTランプ	点灯：NETWORKポートで通信できる状態 点滅：NETWORKポートでデータを送受信中 消灯：NETWORKポートにLANケーブルが接続されていない状態	
MACアドレス	本製品のMACアドレスです。	
リセットスイッチ	本製品の設定を出荷時設定に戻します。 IPアドレスを忘れてしまった場合などに使用します。 （【出荷時設定に戻す】106ページ参照）	
NETWORKポート	LANケーブルを接続するためのポートです。	
WIRELESS UNITポート	ワイヤレスユニットのACユニット接続ケーブルを接続します。	
AC-IN	添付のACケーブルを接続するポートです。	



参考

●アドホック(Ad hoc)モード
無線LANアダプタ同士で通信するモードです。

●インフラストラクチャ(Infrastructure)モード
無線LANアクセスポイント（無線LANブロードバンドルータ）経由で通信するモードです

設定用パソコンの環境設定をする

本製品の設定をするための環境を作ります。

①本製品を設定用パソコンと接続する

本製品の設定をするために、設定用パソコンと本製品を有線LAN接続します。

▼

18ページ

②IPアドレスを設定する

本製品の設定画面を起動するために、設定用パソコンのIPアドレスを設定します。

▼

19ページ

③Webブラウザを設定する

本製品の設定画面を起動するために、Webブラウザの設定を確認します。

31ページ



注意！

●本製品を複数台使用する場合のご注意

同じネットワーク内で、本製品を複数台使用する場合は、出荷時状態のままだとIP アドレスが重なってしまいます。したがって、次にご注意ください。

「設定終了後に、本製品の IP アドレスがネットワーク上のパソコンや他の本製品の IP アドレスと重ならないように変更する。」

（変更方法は【本製品の IP アドレスを変更する】(60 ページ）をご覧ください。）

①本製品を設定用パソコンと接続する

1 本製品と有線LANパソコンを接続します。

①LANケーブルとワイヤレスユニットを、ACユニットにつなぎます。

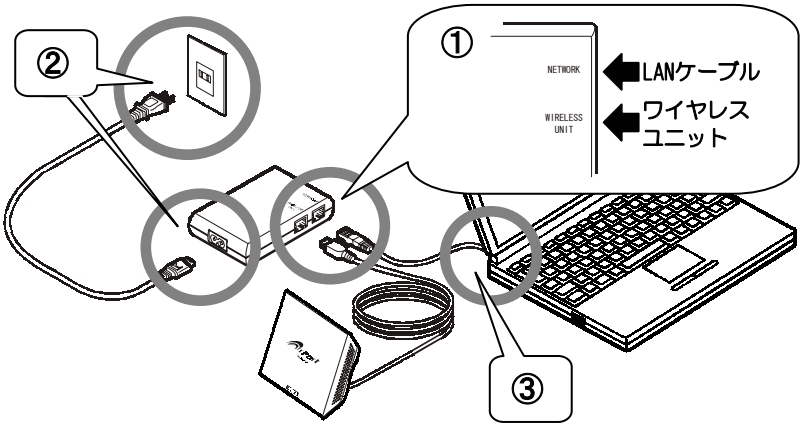
LANケーブル　→　NETWORKポートへ

ワイヤレスユニット　→　WIRELESS UNITポートへ

②ACケーブルを、ACユニットとコンセントにつなぎます。

③LANケーブルを、パソコンのLANポートにつなぎます。

（LANケーブルはストレート/クロスのどちらでも使用できます。）



以上で取り付けは終了です。【②IPアドレスを設定する】（次ページ）へお進みください。

注意！

本製品は同時に１つの機器としか接続することができません。ハブなどに接続すると正常に動作しません。

参考

●本製品を設定用パソコン以外のネットワーク機器で使用する場合

本製品の設定終了後に、設定用パソコンでアクセスポイントや無線LANアダプタと通信できていることをご確認ください。

設定用パソコンで通信できていることを確認できたら、他のネットワーク機器に接続できます。他のネットワーク機器との接続方法については上記接続方法を参考にしてください。

②IPアドレスを設定する

本製品の設定画面を起動するためには、設定するパソコンの IP アドレスが、下記を満たしている必要があります。

（本製品の出荷時の IP アドレスは「192.168.0.202」です。）

- **●本製品の IP アドレスと同じクラスである**
- **●本製品とは別の IP アドレスである**

以下の手順で設定してください。

1 本製品の設定をする[設定用パソコン]にLANアダプタが正しく接続され、動作していることをご確認ください。

各LANアダプタの取扱説明書をご覧ください。

2 パソコンの電源を入れます。

3 パソコンのIPアドレスを設定します。

設定はご使用のOSによって異なります。以下の該当する個所へお進みください。

・ Windows XPをお使いの場合	→ 次ページ参照
・ Windows 2000をお使いの場合	→ 23ページ参照
・ Windows Me/98をお使いの場合	→ 26ページ参照
・ Mac OS Xをお使いの場合	→ 28ページ参照
・ Mac OS（Classic）をお使いの場合	→ 30ページ参照

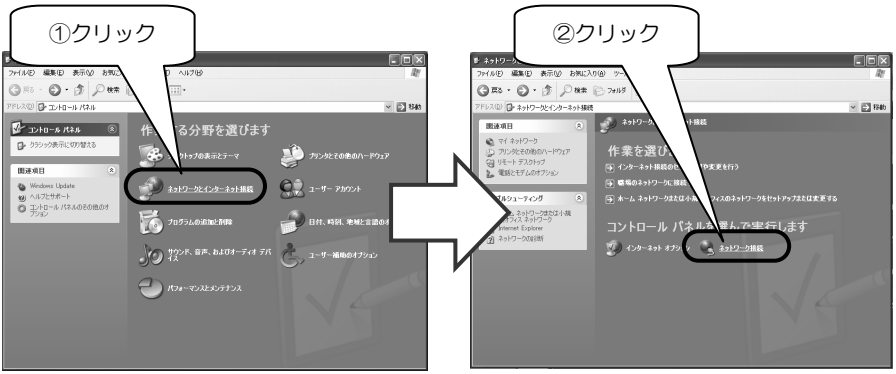
Windows XPでIPアドレスを設定する

1 **コンピュータの管理者のアカウントでログオンします。**

2 **[スタート]ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。**

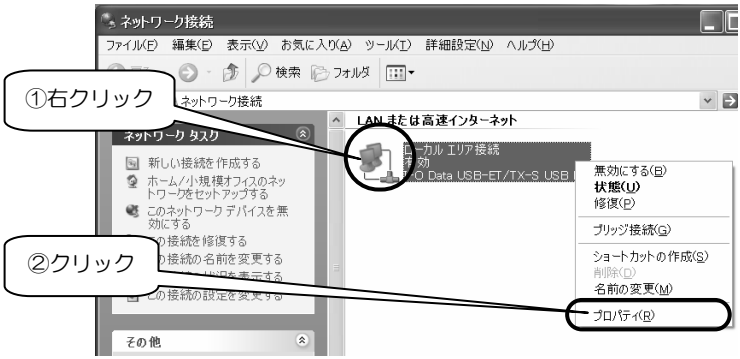


3 **[ネットワークとインターネット接続]をクリックし、開いたウィンドウの中にある［ネットワーク接続］をクリックします。**

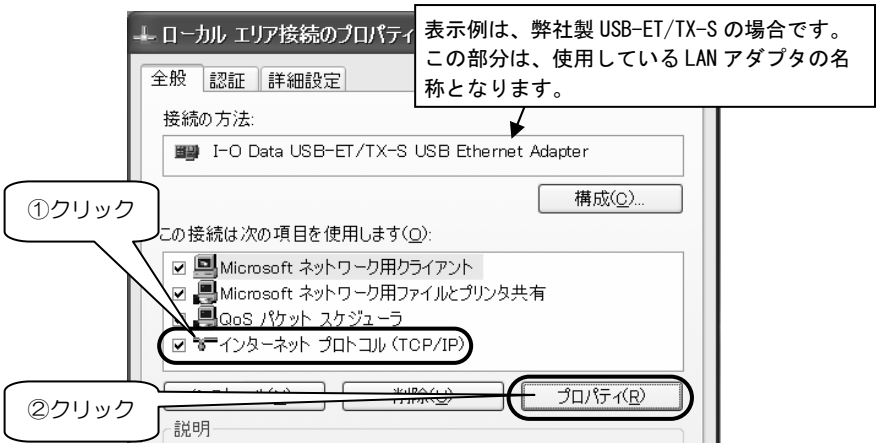


Windows XPでIPアドレスを設定する（つづき）

4 ［ローカルエリア接続］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。



5 ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をクリックし、［プロパティ］ボタンをクリックします。

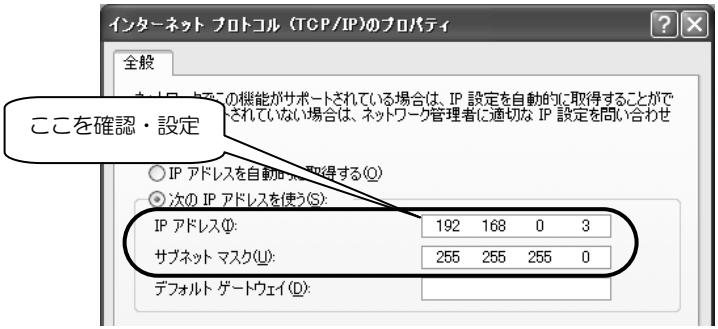


Windows XPでIPアドレスを設定する（つづき）

6 パソコンのIPアドレスを確認・設定します。

設定用パソコンのIPアドレスが本製品のIPアドレスと同じクラスで、かつ、別のIPアドレスとなっている必要があります。

（本製品のIPアドレスは出荷時「192.168.0.202」です。）



「IP アドレスを自動的に取得する」に設定している場合

別のクラスの IP アドレス（「172.xxx.xxx.xxx」など）に設定している場合

本製品と同じ IP アドレス（「192.168.0.202」）に設定している場合

パソコンの IP アドレスを一時的に、「192.168.0.3」などの同じクラスで、かつ、「192.168.0.202」以外の IP アドレスに変更し［OK］ボタンをクリック後、すべての画面を閉じてパソコンを、再起動してください。

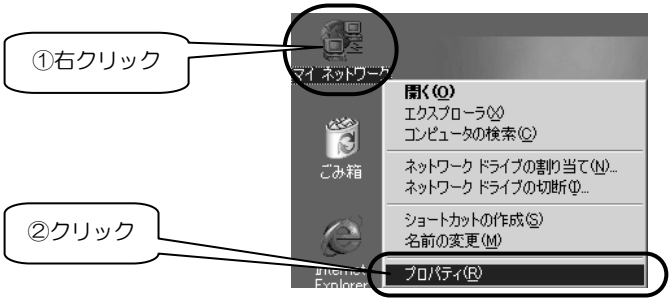
※パソコンのこの設定は、一時的な設定です。本製品のすべての設定が終了した後に、ご利用環境に合わせて再度設定し直してください。

【③Webブラウザを設定する】（31ページ）へお進みください。

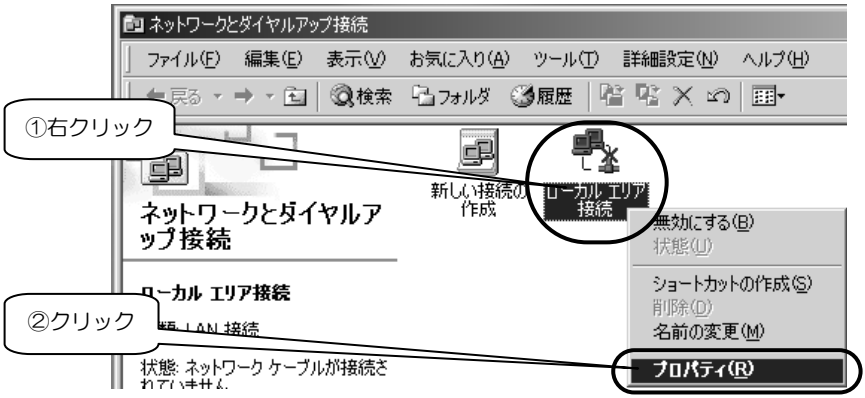
Windows 2000でIPアドレスを設定する

1 Administrators権限でWindows 2000にログオンします。

2 ［マイ ネットワーク］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

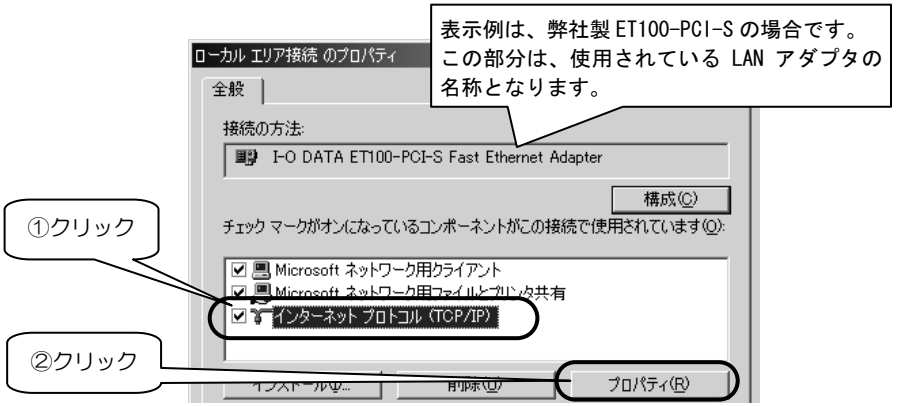


3 ［ローカル エリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。



Windows 2000でIPアドレスを設定する（つづき）

4 ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をクリックし、［プロパティ］ボタンをクリックします。



参考

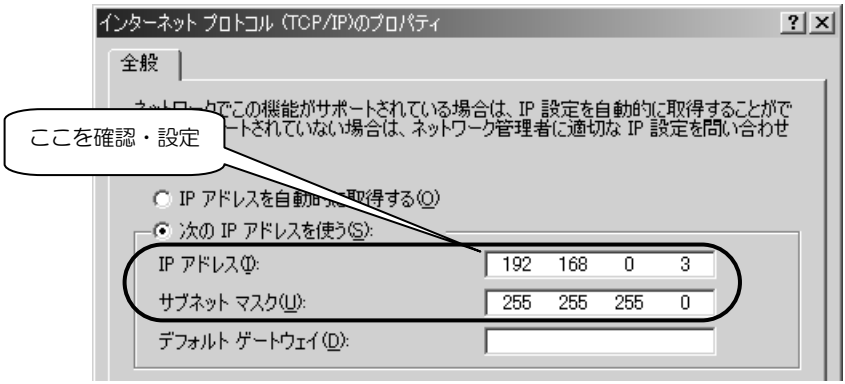
上記の表示以外に［NetBEUI プロトコル］など他のクライアントやプロトコルおよびサービスなどが表示されていても問題ありません。

Windows 2000でIPアドレスを設定する（つづき）

5 パソコンのIPアドレスを確認・設定します。

設定用パソコンで本製品を設定するには、設定用パソコンのIPアドレスが本製品のIPアドレスと同じクラスで、かつ、別のIPアドレスとなっている必要があります。

（本製品のIPアドレスは出荷時「192.168.0.202」です。）



「IP アドレスを自動的に取得する」に設定している場合

別のクラスの IP アドレス（「172.xxx.xxx.xxx」など）に設定している場合

本製品と同じ IP アドレス（「192.168.0.202」）に設定している場合

→ パソコンの IP アドレスを一時的に、「192.168.0.3」などの同じクラスで、かつ、「192.168.0.202」以外の IP アドレスに変更し［OK］ボタンをクリック後、すべての画面を閉じてパソコンを、再起動してください。

※パソコンのこの設定は、一時的な設定です。本製品のすべての設定が終了した後に、ご利用環境に合わせて再度設定し直してください。

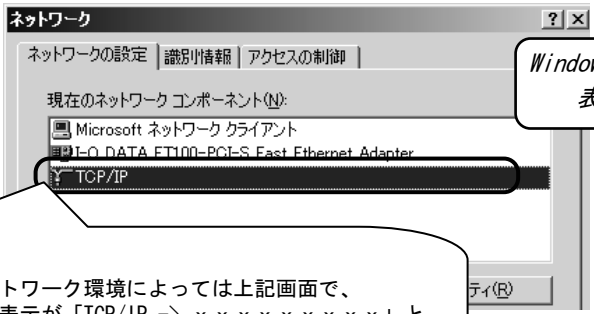
【③Webブラウザを設定する】（31ページ）へお進みください。

Windows Me/98でIPアドレスを設定する

1 **［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。**

2 **［TCP/IP］をダブルクリックします。**

※アダプタが複数ある場合は、［TCP/IP－>xxxxxxxx］をダブルクリック
します。（xxxxxxxxはLANアダプタのデバイス名の名称です。）



Windows 98での表示例

ダブルクリック
※ご利用のネットワーク環境によっては上記画面で、［TCP/IP］の表示が「TCP/IP -> ｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘ」と表示される場合があります。（「ｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘ」の部分は使用されているLANアダプタのデバイス名の名称となります。）



参考

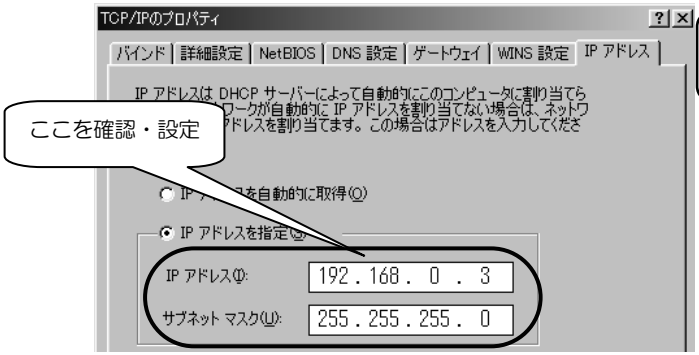
上記の表示以外に［NetBEUI］など他のクライアントやプロトコルおよびサービスなどが表示されていても問題ありません。

Windows Me/98でIPアドレスを設定する（つづき）

3 パソコンのIPアドレスを確認・設定します。

設定用パソコンで本製品を設定するには、設定用パソコンのIPアドレスが本製品のIPアドレスと同じクラスで、かつ、別のIPアドレスとなっている必要があります。

（本製品のIPアドレスは出荷時「192.168.0.202」です。）



「IP アドレスを自動的に取得」に設定している場合	パソコンの IP アドレスを一時的に、「192.168.0.3」などの同じクラスで、かつ、「192.168.0.202」以外の IP アドレスに変更し［OK］ボタンをクリック後、すべての画面を閉じてパソコンを、再起動してください。 ※パソコンのこの設定は、一時的な設定です。本製品のすべての設定が終了した後に、ご利用環境に合わせて再度設定し直してください。
別のクラスの IP アドレス（「172.xxx.xxx.xxx」など）に設定している場合	
本製品と同じ IP アドレス（「192.168.0.202」）に設定している場合	

【③Webブラウザを設定する】（31ページ）へお進みください。

Mac OS XでIPアドレスを設定する

1 [アップルメニュー]→[場所]→[ネットワーク環境設定]をクリックします。



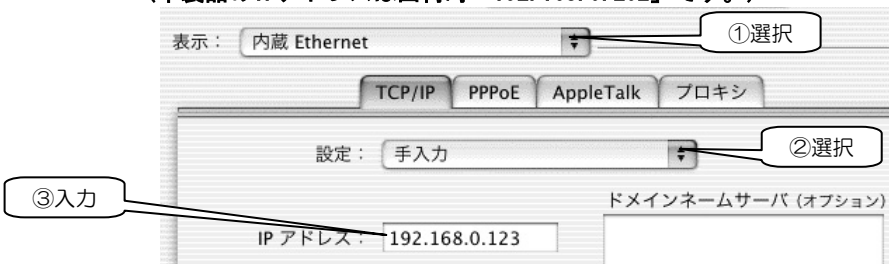
2 パソコンのIPアドレスを確認・設定します。

①[表示：]から[内蔵Ethernet]または[Ethernet]を選択します。

②[TCP/IP]タブで[設定：]から[手入力]を選択します。

③IPアドレスに、本製品のIPアドレスと重ならない、未使用のIPアドレスを入力します。（ネットワーク管理者に確認してください）

（本製品のIPアドレスは出荷時「192.168.0.202」です。）



「IP アドレスを自動的に取得する」に設定している場合

別のクラスの IP アドレス（「172. xxx. xxx. xxx」など）に設定している場合

本製品と同じ IP アドレス（「192. 168. 0. 202」）に設定している場合

パソコンの IP アドレスを一時的に、「192. 168. 0. 123」などの同じクラスで、かつ、「192. 168. 0. 202」以外の IP アドレスに変更後、すべての画面を閉じてパソコンを、再起動してください。

※パソコンのこの設定は、一時的な設定です。本製品のすべての設定が終了した後に、ご利用環境に合わせて再度設定し直してください。

Mac OS XでIPアドレスを設定する（つづき）

3 [今すぐ適用]ボタンをクリックします。



4 タイトルバーの（×）ボタンをクリックして画面を閉じます。

【③Webブラウザを設定する】（31ページ）へお進みください。

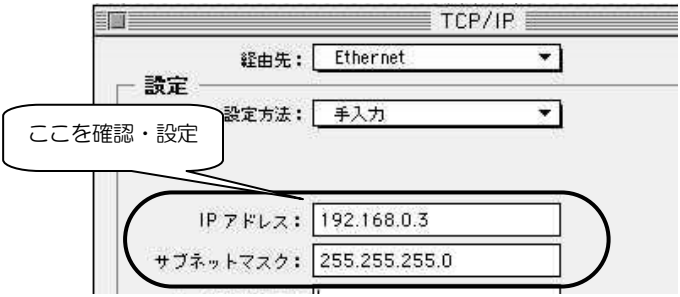
Mac OS（Classic）でIPアドレスを設定する

1 ［アップルメニュー］→［コントロールパネル］内の［TCP/IP］をクリックします。

2 パソコンのIPアドレスを確認・設定します。

設定用パソコンで本製品を設定するには、設定用パソコンのIPアドレスが本製品のIPアドレスと同じクラスで、かつ、別のIPアドレスとなっている必要があります。

（本製品のIPアドレスは出荷時「192.168.0.202」です。）



「DHCP サーバを参照」に設定している場合

別のクラスの IP アドレス（「172.xxx.xxx.xxx」など）に設定している場合

本製品と同じ IP アドレス（「192.168.0.202」）に設定している場合

一時的に、［設定方法：］を［手入力］に設定し、パソコンの IP アドレスを「192.168.0.3」などの同じクラスで、かつ、「192.168.0.202」以外の IP アドレスに変更し、すべての画面を閉じてパソコンを再起動してください。

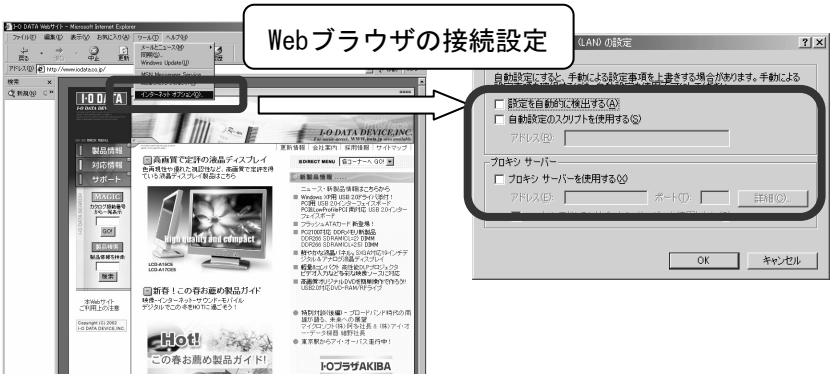
※パソコンのこの設定は、一時的な設定です。本製品のすべての設定が終了した後に、ご利用環境に合わせて再度設定し直してください。

【③Webブラウザを設定する】（31ページ）へお進みください。

③Webブラウザを設定する

本製品を設定するには、Web ブラウザの接続設定をしておく必要があります。
下記２点に注意し設定してください。

①LANを使用してインターネットに接続する。
②プロキシサーバーを設定する。



注意！

【必要なソフトウェア】(14 ページ) を参照して、Internet Explorer の必要なバージョンをご確認ください。なお、本製品に Web ブラウザは添付しておりません。
Web ブラウザがない、あるいは Web ブラウザのバージョンが古い場合は、正常に設定できませんので、必要なバージョン以降をご用意ください。

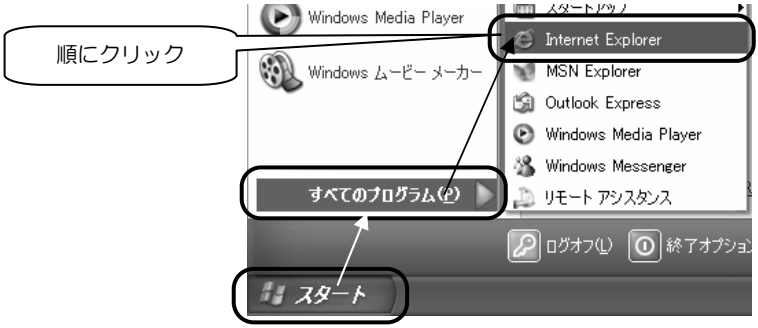
- Windowsをお使いの場合 → 次ページを参照してください。
- Mac OS Xをお使いの場合 → 36ページを参照してください。
- Mac OS (classic) をお使いの場合 → 38ページを参照してください。

WindowsでのWebブラウザの設定

1 ［Internet Explorer］画面を表示させます。

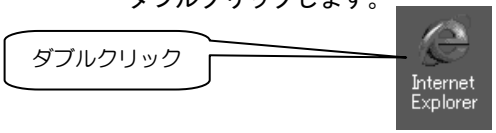
・*Windows XPの場合*

［スタート］→［すべてのプログラム］→［Internet Explorer］（または［インターネット Internet Explorer］）をクリックします。



・*Windows 2000、Windows Me/98の場合*

デスクトップ画面上の［Internet Explorer］アイコンをダブルクリックします。



注意！

この時点でインターネットに接続されていない場合は、「ページを表示できません」など正常に画面が表示されませんが、この時点で正常に画面が表示されていなくても問題ありません。

2 ［Internet Explorer］画面の［ツール］メニューの［インターネット オプション］をクリックします。

※本手順以降、画面は［Internet Explorer 6.0］を例にしています。



3 ［接続］タブをクリックし、［ダイヤルしない］をチェックします。続けて、［LANの設定］ボタンをクリックします。



4 プロバイダからの資料を参照し、［プロキシ］に関する設定の指示がないか確認し、次ページの設定を行います。

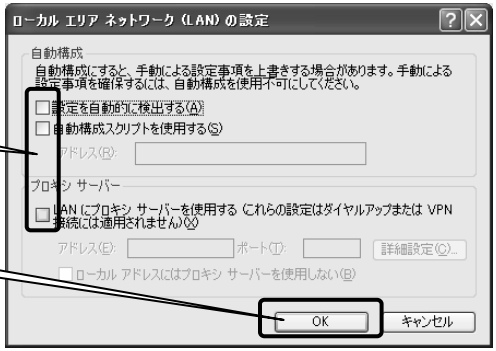
注意！

プロバイダによっては、プロキシについての設定を指示している場合があります。詳しくはプロバイダから入手した資料をご確認ください。

●プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示が**ない**場合

①すべての項目の
チェックを外す

②クリック



●プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示が**ある**場合

①チェックを外す

②チェックを入れる

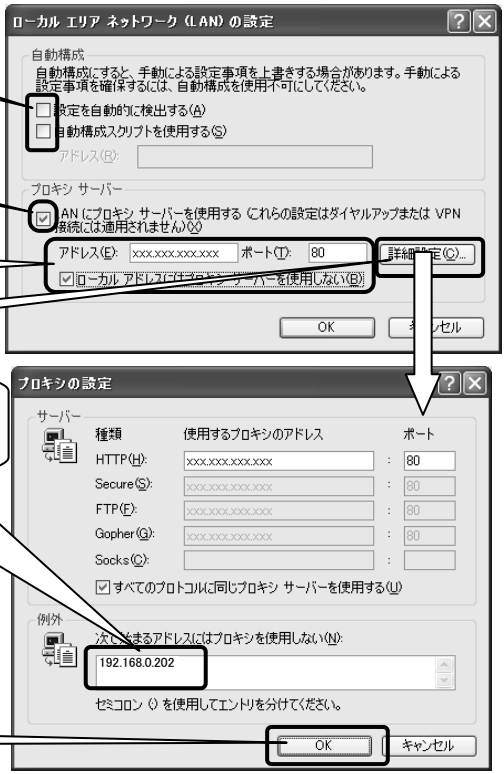
③プロバイダの指示
に従って設定する

④クリック

⑤本製品の IP アドレスを入力（出荷時の場合は　192.168.0.202）

すでに他の IP アドレスを設定している場合は、　;192.168.0.202　のように前に　;　（セミコロン）を付けて追加してください。

⑥クリック



5 ［ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定］画面で[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

6 ［インターネット オプション］（または［インターネットのオプション］）画面へ戻りますので、[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

以上でWebブラウザの設定は終了です。【アクセスポイントと通信する】（41ページ）へお進みください。

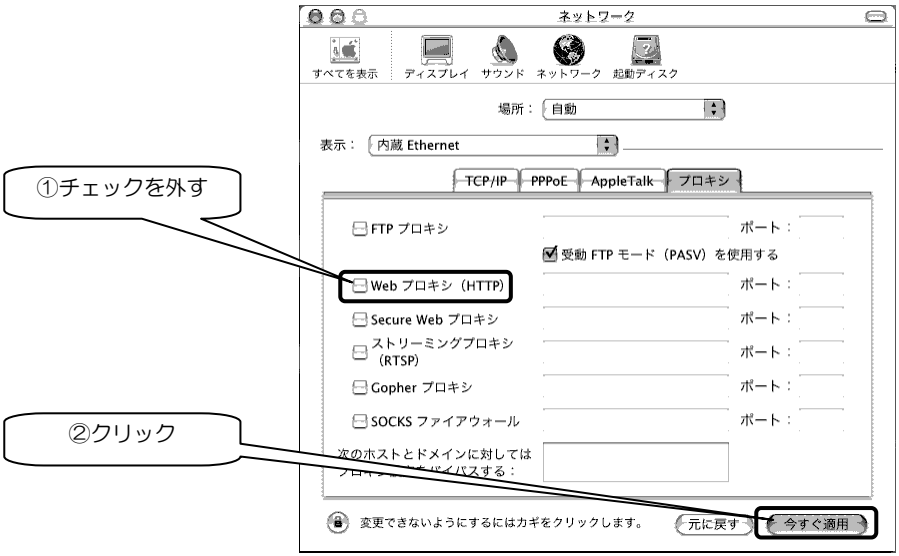
Mac OS XでのWebブラウザの設定

1 [アップルメニュー]→[場所]→[ネットワーク環境設定...]を選択します。



2 [プロキシ]タブをクリックし、プロバイダからの資料を参照して、[プロキシ]に関する設定の指示がないか確認し、以下の設定を行います。

●プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示が<u>ない</u>場合



●プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示が**ある**場合



3 設定後、左上の（×）をクリックして画面を閉じます。

以上でWebブラウザの設定は終了です。【アクセスポイントと通信する】（41ページ）へお進みください。

Mac OS（classic）でのWebブラウザの設定

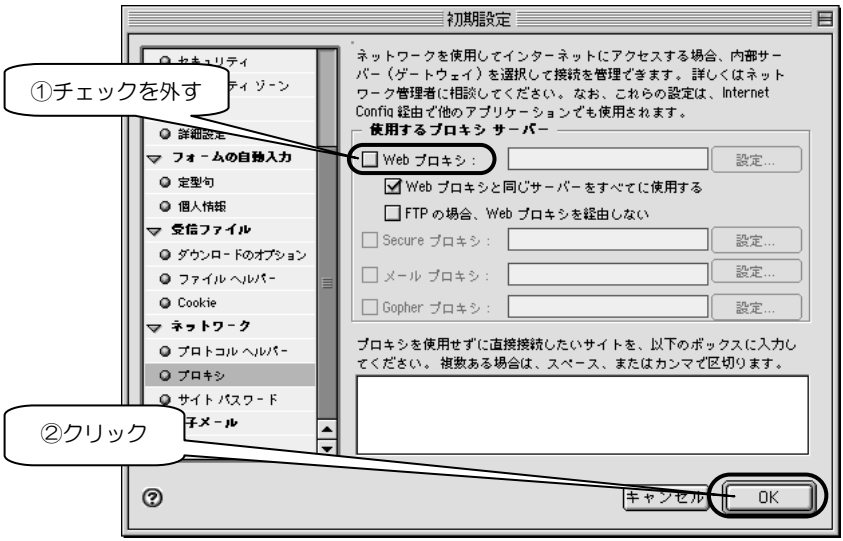
1 Internet Explorerを起動します。

2 ［編集］→［初期設定...］を選択します。

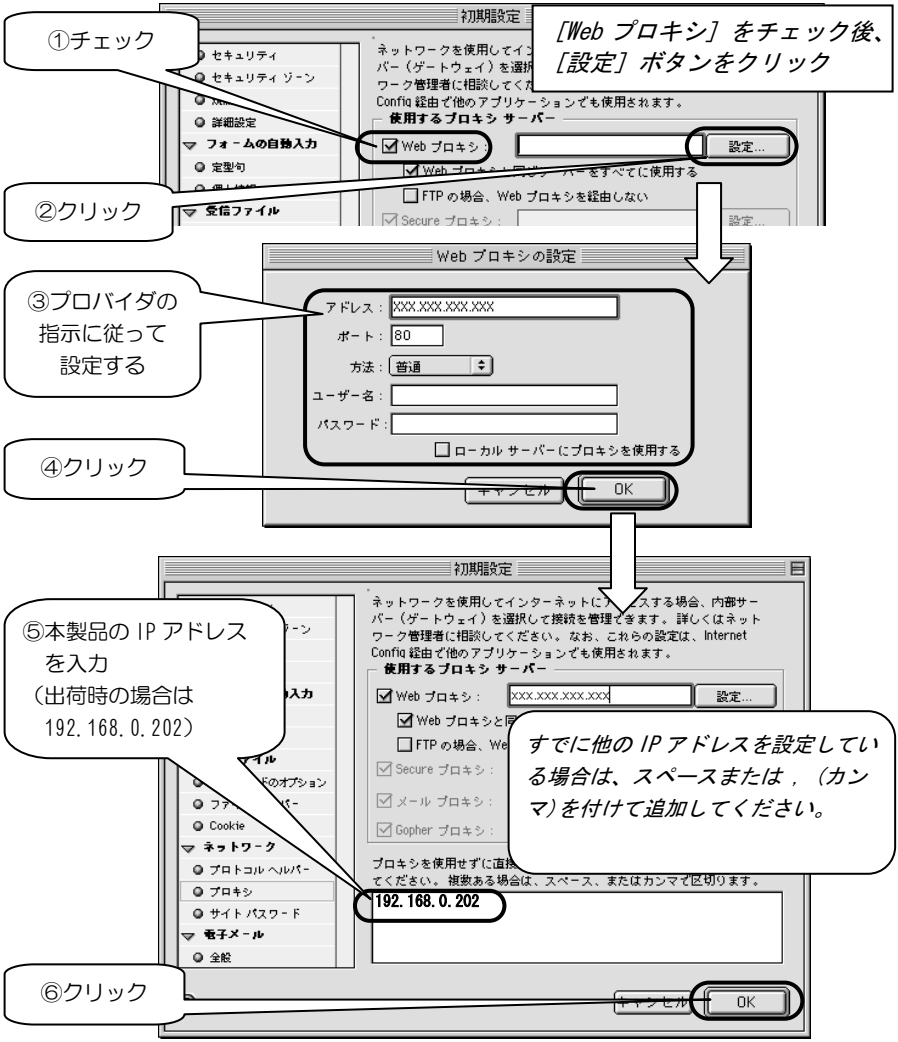
3 ［▽ネットワーク］の［プロキシ］を選択します。

4 プロバイダからの資料を参照し、［プロキシ］に関する設定の指示がないか確認し、以下の設定を行います。

●プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示が**ない**場合



●プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示がある場合



以上でWebブラウザの設定は終了です。【アクセスポイントと通信する】（41ページ）へお進みください。

MEMO

アクセスポイントと通信する

「インフラストラクチャ」モード

アクセスポイント経由で通信するための設定をします。

※アクセスポイントを使用しない（無線LANアダプタのみで通信する）場合は、【無線LANアダプタのみで通信する】（47ページ）へお進みください。

①アクセスポイントを設置する

本製品のアクセスポイント設定を決めます。

▼

42ページ

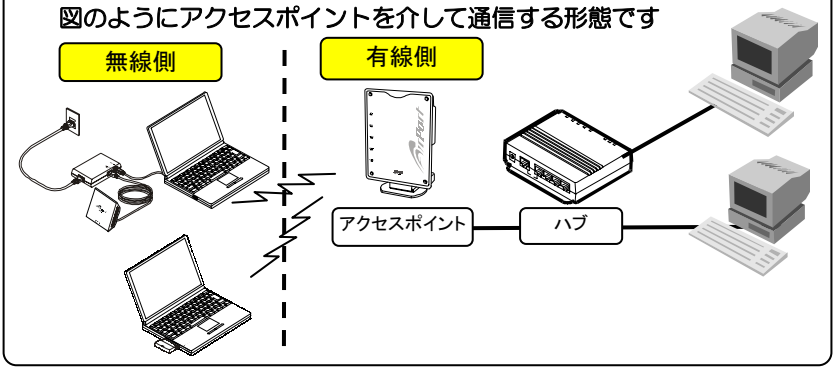
②アクセスポイントと通信する

アクセスポイントと通信するための設定をします。（インフラストラクチャ）

43ページ

インフラストラクチャモードとは？

図のようにアクセスポイントを介して通信する形態です



①アクセスポイントを設置する

1 前もって設定したアクセスポイントの電源を入れた状態で設置します。

アクセスポイントの設置や設定方法については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

2 アクセスポイントの「SSID」（ESSID）をメモします。

アクセスポイントの設定画面をご覧になり、アクセスポイントに設定したSSID(ESSID)を下に書き込んでください。
アクセスポイントのSSID(ESSID)確認方法は,アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
※SSIDは【アクセスポイントと通信する】の設定で使用します。

▼確認したSSID(ESSID)を記入してください。

SSID(ESSID)	



参考

SSIDとは？
複数の無線ネットワークが存在する場合に、それらをグループ化するための識別子（ID）です。SSIDが一致していないと、そのネットワークには参加できません。アクセスポイントによっては、SSIDがESSIDと記載されている場合もあります。

3 アクセスポイントの[暗号キー]をご確認ください。

アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
暗号化されている場合は暗号キーをメモしてください。
※暗号キーは【アクセスポイントと通信する】で使用します。



注意！

はじめて、弊社製WN-A54/BBRなどのルータ機能を持つアクセスポイントを設定する場合は、ADSLモデムやケーブルモデムとつなぐ必要はありません。アクセスポイント側のインターネット接続に関しては本製品との無線接続が終了した後にアクセスポイント付属の取扱説明書を参照して設定を行ってください。

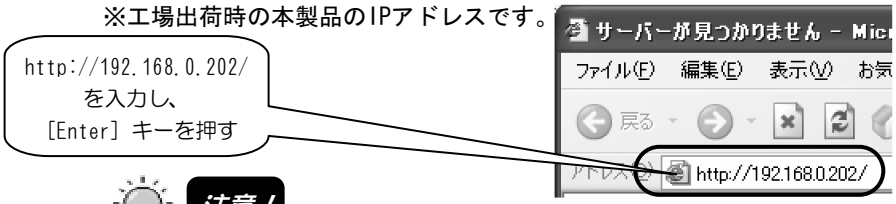
②アクセスポイントと通信する

アクセスポイントと通信するための設定をします。設定内容は本製品に保存されます。

設定画面を起動する

1 Webブラウザを起動して以下を開きます。
http://192.168.0.202/

※工場出荷時の本製品のIPアドレスです。



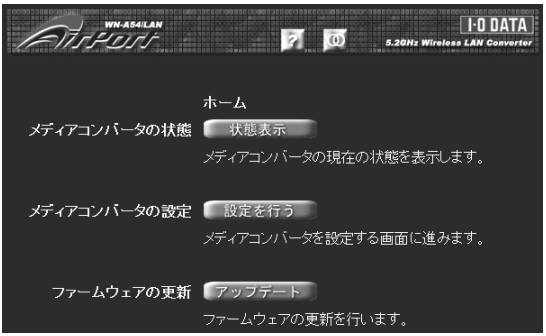
注意！

上記 IP アドレスは、本製品内部にある設定画面を呼び出す IP アドレスです。設定用パソコンと本製品が接続されていれば（インターネットに接続されていなくても）呼び出すことができます。

2 以下の画面が表示された場合は、［はい］ボタンをクリックします。



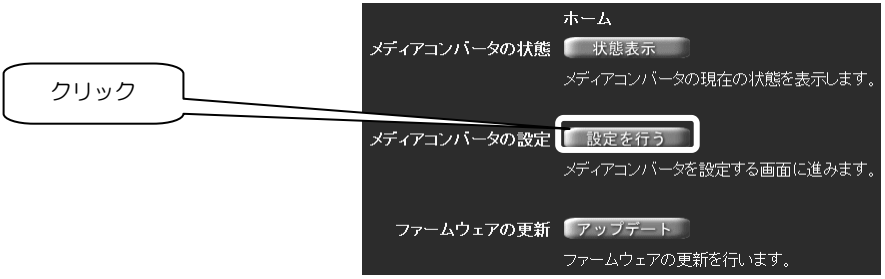
3 設定画面が表示されます。



本製品の設定をする

1 設定画面の[設定を行う]をクリックします。

⇒設定画面が表示されます。



2 [SSID]の[検索]ボタンをクリックします。



3 ネットワークリスト画面で、42ページで確認したSSIDをクリックし、[選択]ボタンをクリックします。

必ず、通信するアクセスポイントをクリックして選択したい欄を水色にしてから、[選択]ボタンをクリックしてください。





参考

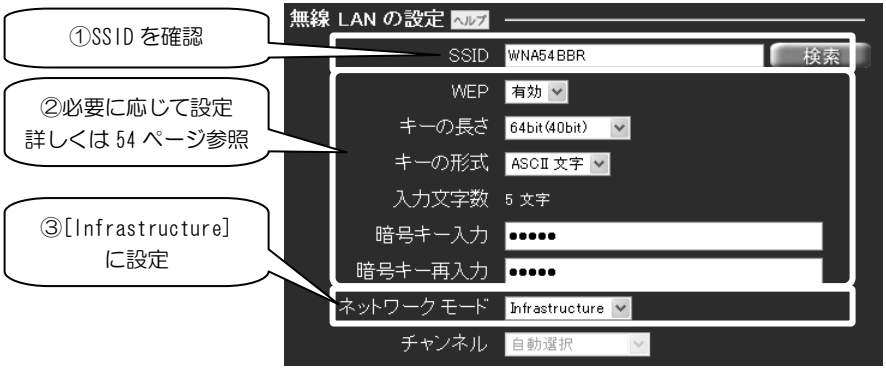
SSIDは直接入力してもかまいません。

4 暗号化とネットワークモードの設定をします。

①SSIDが正しいことを確認します。

②通信するアクセスポイントで、暗号化を行っている場合は、設定してください。詳しくは、54ページをご覧ください。

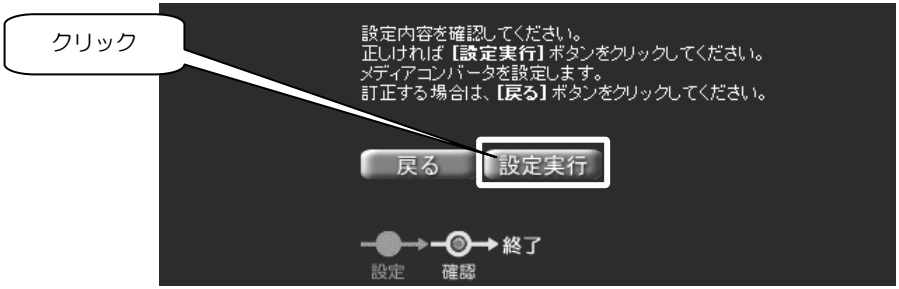
③[ネットワークモード]を[Infrastructure]に設定します。



5 設定が終了したら、画面下の[次へ]ボタンをクリックします。



6 設定内容を確認して、[設定実行]ボタンをクリックします。



7 以下の画面が表示され、本製品が再起動します。

ここで、設定画面は終了できます。



以上で設定は終了です。
設定後、【本製品を使用できる環境】（14ページ）につなぐことができます。

注意！

本製品の設定終了後、設定用パソコンのネットワーク設定（IPアドレスなど）を、もとのネットワークの環境に戻す必要があります。

無線LANアダプタのみで通信する

アドホックモード

①使用環境を確認する

本製品を使用する環境を確認します。

▼

48ページ

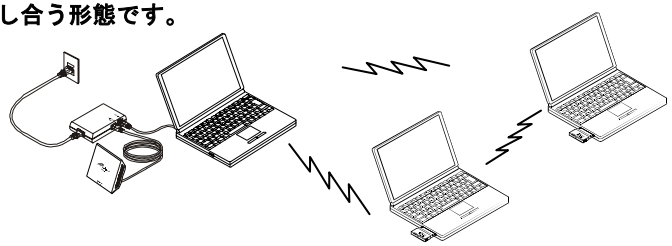
②無線LANアダプタのみで通信する

無線LANアダプタのみで通信する（アドホックモード）ための設定をします。

49ページ

アドホックモードとは？

図のようにアクセスポイントを介さずに、パソコン同士で直接通信し合う形態です。



①使用環境を確認する

本製品を使用するには、SSIDを決める必要があります。

1 **本製品を使用する環境を、以下から選び、チェックを付けます。**

☐ 新たにネットワークを構築する（１台目の導入）	☐ 既存のネットワークで使用する（追加導入）
2 **SSID（ESSID）を決めます。** 半角英数字32文字以内（大/小文字の区別もあり）で、お好きな名前を下に書き込んでください。 例）home	**ネットワーク管理者にSSID（ESSID）をご確認ください。** 確認したSSID（ESSID）を下に書き込んでください。

▼決めた（確認した）SSID（ESSID）を記入してください。

※SSID(ESSID)は【②無線LANアダプタのみで通信する】で使用します。

SSID(ESSID)	



参考

●SSIDとは？
複数の無線ネットワークが存在する場合に、それらをグループ化するための識別子（ID）です。SSIDが一致していないとそのネットワークには参加できません。アクセスポイントによっては、SSIDがESSIDと記載されている場合もあります。

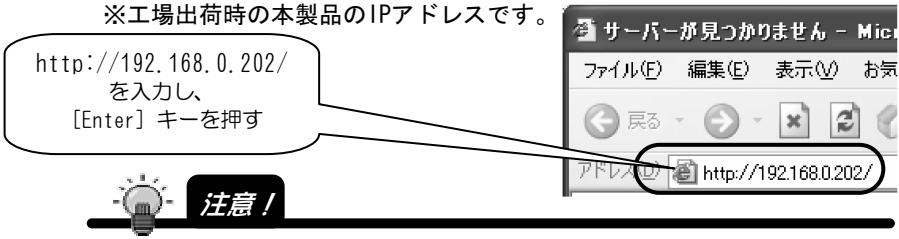
②無線LANアダプタのみで通信する

無線LANアダプタと通信するための設定をします。設定内容は本製品に保存されます。

設定画面を起動する

1 **Webブラウザを起動して以下を開きます。**
http://192.168.0.202/

※工場出荷時の本製品のIPアドレスです。



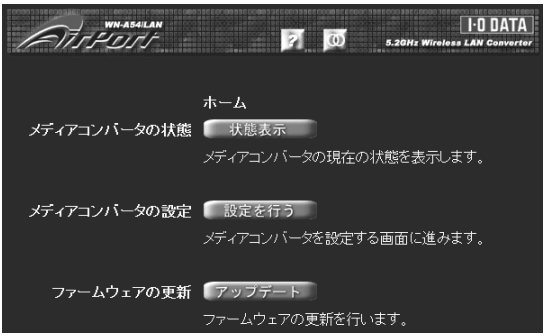
注意！

上記 IP アドレスは、本製品内部にある設定画面を呼び出す IP アドレスです。設定用パソコンと本製品が接続されていれば（インターネットに接続されていなくても）呼び出すことができます。

2 **以下の画面が表示された場合は、［はい］ボタンをクリックします。**



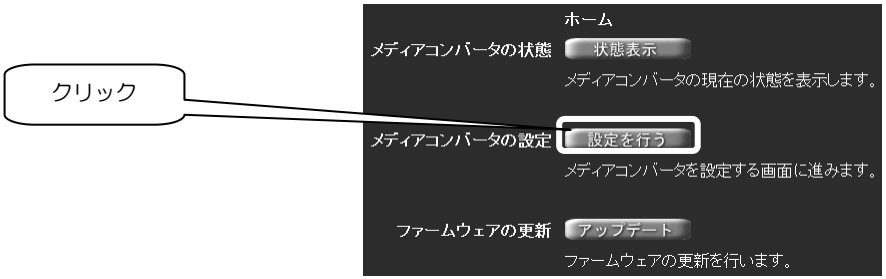
3 **設定画面が表示されます。**



本製品の設定をする

1 設定画面の[設定を行う]をクリックします。

⇒設定画面が表示されます。



2 ●１台目の導入の場合

[SSID]に、48ページでメモしたSS IDを直接入力します。



●追加導入の場合

①[SSID]の[検索]ボタンをクリックします。

②ネットワークリスト画面で、48ページでメモしたSSIDで［ネットワークモード]が[Ad hoc]のものクリックし、[選択]ボタンをクリックします。

必ず、通信するアクセスポイントをクリックして選択したい欄を水色にしてから、[選択]ボタンをクリックしてください。





参考

SSIDは直接入力してもかまいません。

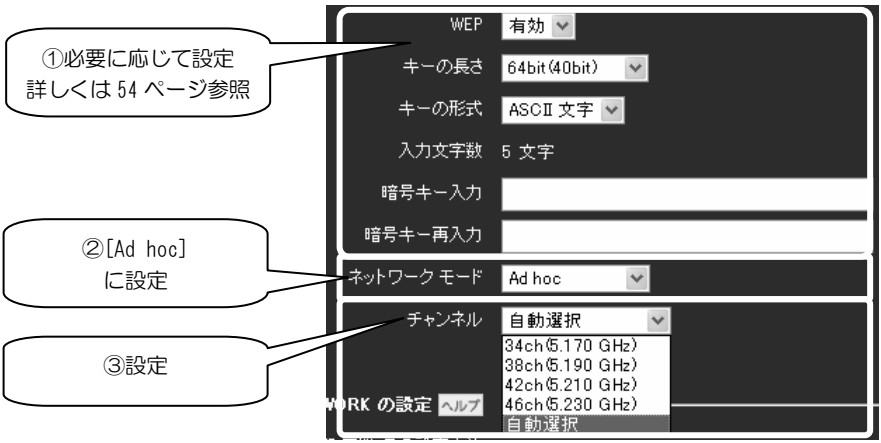
3 暗号化とネットワークモードの設定をします。

①ネットワークで暗号化を行う場合は、設定を行ってください。
詳しくは、【暗号化する】(54ページ)をご覧ください。

②[ネットワークモード]を[Ad hoc]に設定します。

③チャンネルを設定します。

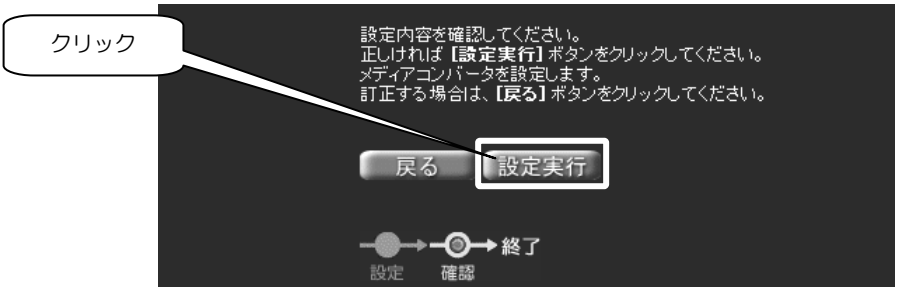
- **●１台目の導入の場合**：[自動選択]に設定します。
- **●追加導入の場合**：接続先で設定しているチャンネルを選びます。
  （通常は自動選択に設定します。）



4 設定が終了したら、画面下の[次へ]ボタンをクリックします。



5 設定内容を確認して、[設定実行]ボタンをクリックします。



6 以下の画面が表示され、本製品が再起動します。

ここで、設定画面は終了できます。



以上で設定は終了です。
設定後、【本製品を使用できる環境】（14ページ）につなぐことができます。

注意！

本製品の設定終了後、設定用パソコンのネットワーク設定(IPアドレスなど)を、もとのネットワークの環境に戻す必要があります。

他の設定をする

暗号化する

本製品による無線通信を暗号化できます。

54ページ

チャンネルを変更する

本製品が使用するチャンネルを変更します。

58ページ

本製品のIPアドレスを変更する

本製品に割り当てるIPアドレスを変更します。

60ページ

インジケータの表示/非表示を変える

ワイヤレスユニット前面のインジケータの表示/非表示を変えます。

64ページ

現在の通信状態を確認する

現在の通信状態を確認することができます。

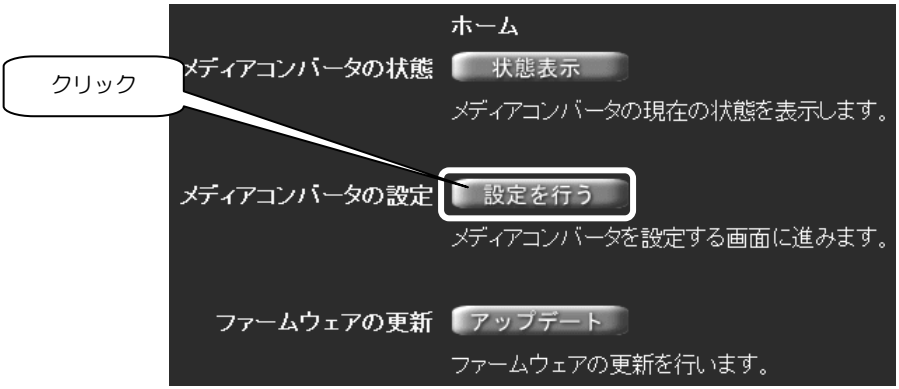
65ページ

暗号化する

本製品による無線通信を暗号化できます。

1 設定画面を起動します。

2 [設定を行う]をクリックします。
⇒設定画面が表示されます。



3 暗号化(WEP)の設定をします。

下の表をご覧になり設定してください。



設定項目	設定内容
WEP	有効…暗号化します。暗号キーの設定を行ってください。 無効…暗号化しません。
キーの長さ	64bit(40bit)…64bit(40bit)の暗号化をします。 128bit(104bit)…128bit(104bit)の暗号化をします。
キーの形式	入力方法を設定します。（ASCII文字、16進数）
暗号キー入力 **暗号キー再入力**	暗号化キーを入力します。[暗号キー再入力]には、[暗号キー]に入力したものと同じ文字列を入力します。 ・16進数の場合は、0～9またはA～Fの文字列 ・ASCII文字の場合は、半角英数字

	64bit	128bit
ASCII文字	5文字	13文字
16進数	10桁	26桁

注意！

暗号化を行う場合、暗号化して通信するすべてのパソコンで設定が必要です。アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントの暗号キーに合わせてください。

参考

●暗号キー入力方式の異なる他社製品との暗号化について

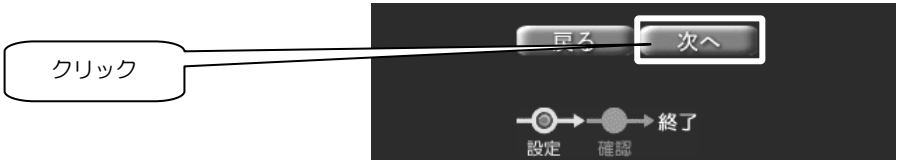
本製品を含む WN-A54 シリーズでは暗号キーとして主に 16 進コードでの暗号キー入力方式を採用していますが、他社製品には、[64bit 共有キー] の場合は５文字、[128bit 共有キー] の場合は 13 文字の英数字・記号（ASCII 文字）で暗号キーを指定する方式や、文字列から 16 進コードへ変換する際、本製品と変換方式の異なる製品があります。

これらの製品と暗号化を行う場合は、最初に英数字・記号の [64bit 共有キー] の場合は５文字、[128bit 共有キー] の場合は 13 文字で暗号キーに使用する文字列を決め、16 進コードを入力できない他社製品はこの５文字の文字列を入力します。WN-A54 シリーズや 16 進コードを入力可能な他社製品にはこの５文字の文字列を下記対応表に基づき、16 進コードに変換したうえで入力することで通信可能となります。各文字と 16 進コードの対応については下記の表を参照してください。

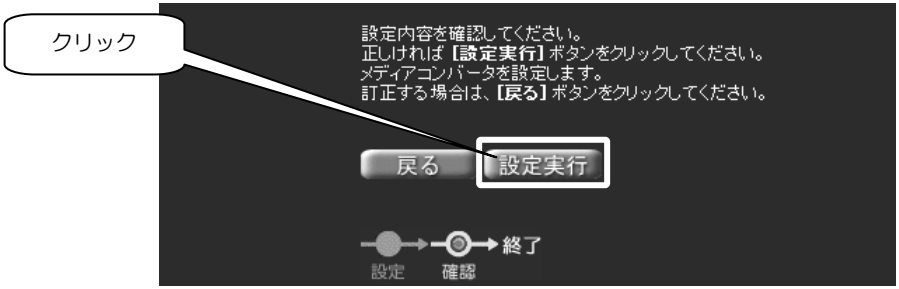
〈例〉 64bit 共有キーで [WNA54] と設定している場合、
16 進コードでは [57 4e 41 35 34] となります。

文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進
!	21	0	30	?	3f	N	4e	]	5d	l	6c	{	7b
″	22	1	31	@	40	O	4f	^	5e	m	6d	|	7c
#	23	2	32	A	41	P	50	_	5f	n	6e	}	7d
$	24	3	33	B	42	Q	51	`	60	o	6f	~	7e
%	25	4	34	C	43	R	52	a	61	p	70		
&	26	5	35	D	44	S	53	b	62	q	71		
’	27	6	36	E	45	T	54	c	63	r	72		
(	28	7	37	F	46	U	55	d	64	s	73		
)	29	8	38	G	47	V	56	e	65	t	74		
*	2a	9	39	H	48	W	57	f	66	u	75		
+	2b	:	3a	I	49	X	58	g	67	v	76		
,	2c	;	3b	J	4a	Y	59	h	68	w	77		
−	2d	<	3c	K	4b	Z	5a	I	69	x	78		
.	2e	=	3d	L	4c	[	5b	j	6a	y	79		
/	2f	>	3e	M	4d	¥	5c	k	6b	z	7a		

4 画面下の[次へ]ボタンをクリックします。



5 設定内容を確認して、[設定実行]ボタンをクリックします。



6 以下の画面が表示され、本製品が再起動します。

ここで、設定画面は終了できます。



以上で設定は終了です。ひきつづき設定する場合は、 ボタンをクリックすると、トップページに戻ります。

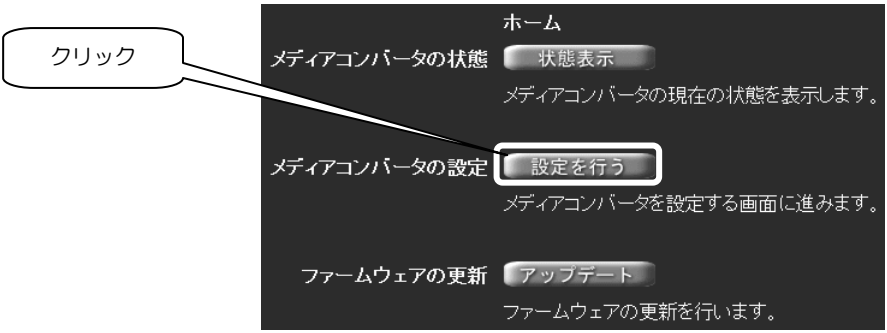
チャンネルを変更する

アドホック(Ad hoc)モードで使用する場合、本製品が使用する無線チャンネルを変更することができます。通常は変更する必要はありません。

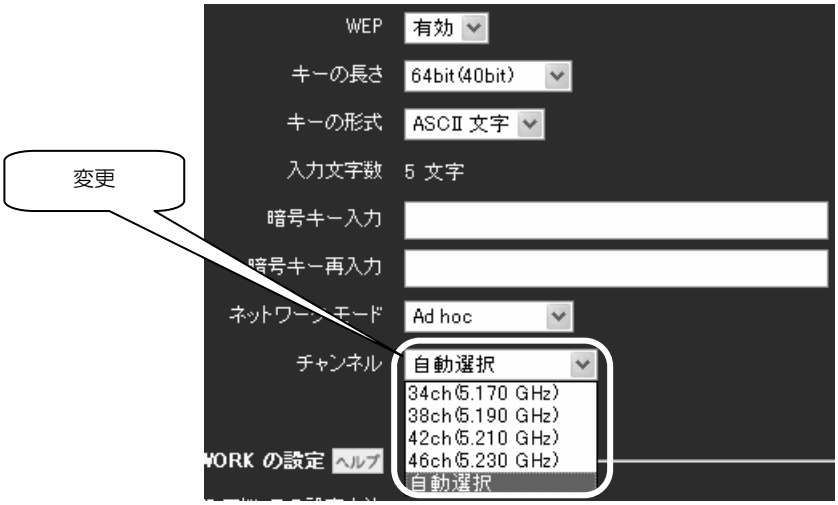
1 設定画面を起動します。

2 設定画面の[設定を行う]をクリックします。

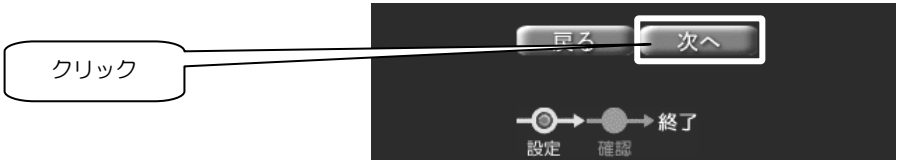
⇒設定画面が表示されます。



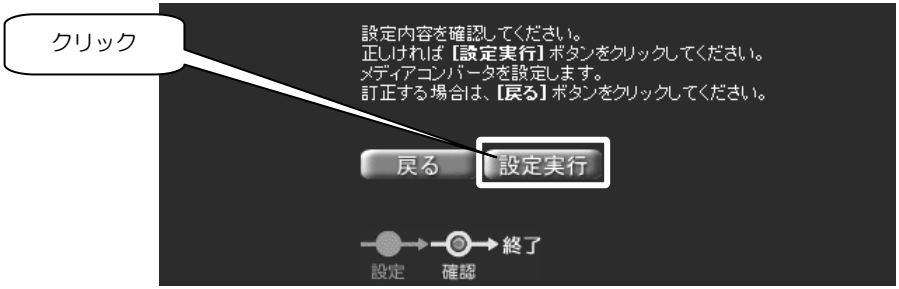
3 [チャンネル]を変更します。



4 画面下の[次へ]ボタンをクリックします。



5 設定内容を確認して、[設定実行]ボタンをクリックします。



6 以下の画面が表示され、本製品が再起動します。



以上で設定は終了です。ひきつづき設定する場合は、 ボタンをクリックすると、トップページに戻ります。

本製品のIPアドレスを変更する

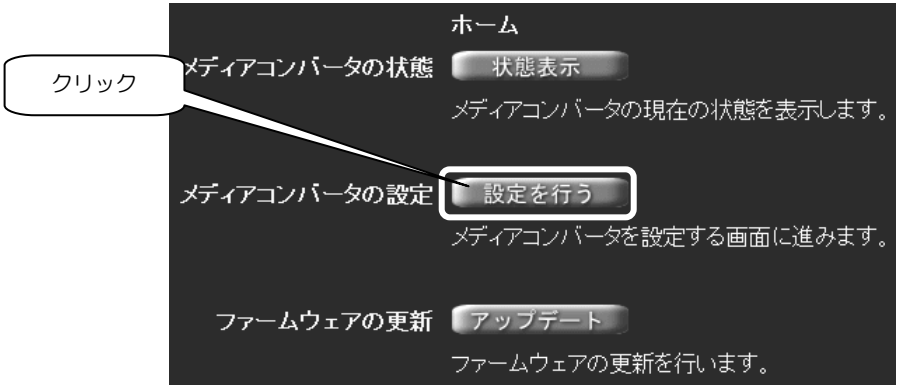
本製品のIPアドレスを変更する方法を説明します。

任意の値に手動で設定する

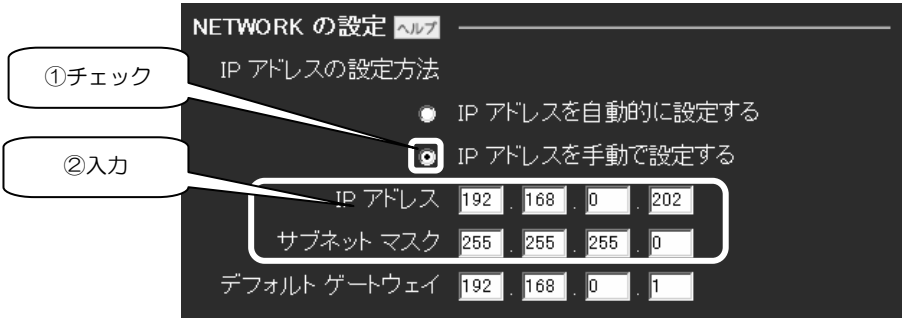
1 設定画面を起動します。

2 設定画面の[設定を行う]をクリックします。

⇒設定画面が表示されます。



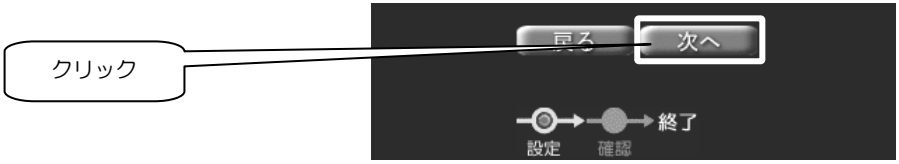
3 [IPアドレスを手動で設定する]にチェックを付け、[IPアドレス]、[サブネットマスク]に任意の値を入力します。



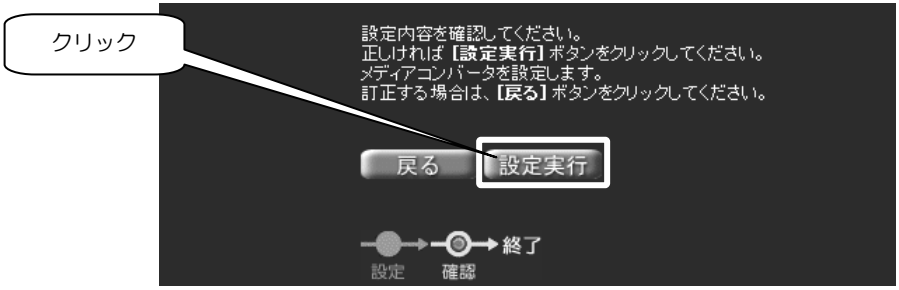
参考

[デフォルトゲートウェイ]はネットワークで定められた値を入力してください。(例：ブロードバンドルータの IP アドレス)

4 画面下の[次へ]ボタンをクリックします。



5 設定内容を確認して、[設定実行]ボタンをクリックします。



6 以下の画面が表示され、本製品が再起動します。



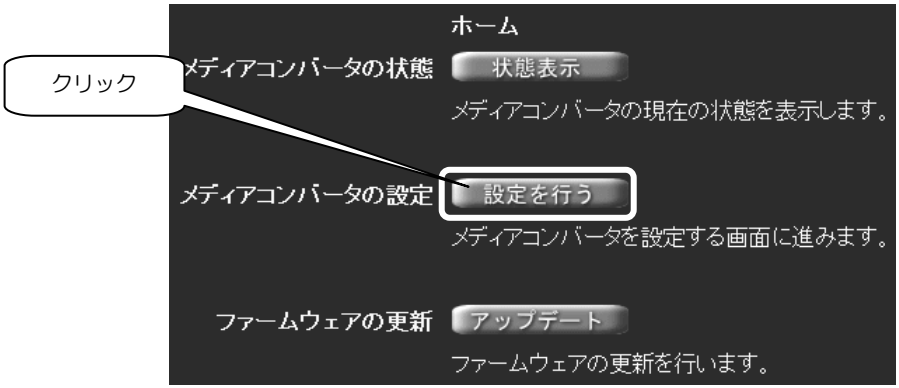
以上で設定は終了です。ひきつづき設定する場合は、ボタンをクリックすると、トップページに戻ります。

ネットワーク内のDHCPサーバから自動取得する

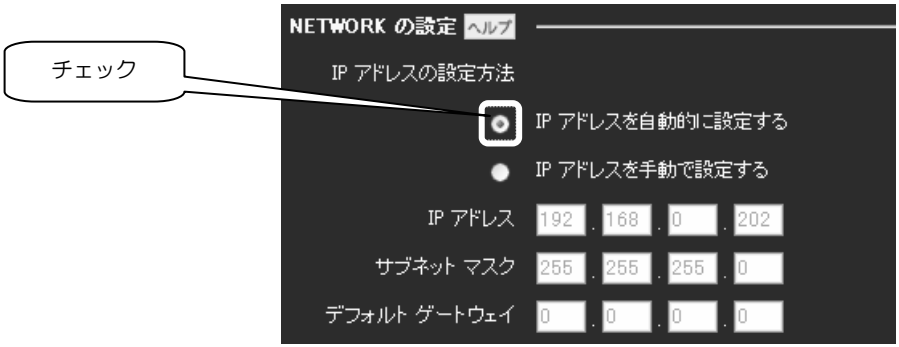
1 **設定画面を起動します。**

2 **設定画面の[設定を行う]をクリックします。**

⇒設定画面が表示されます。



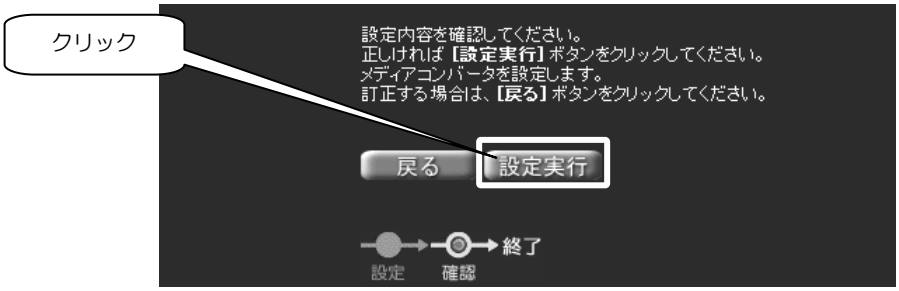
3 **[IPアドレスを自動的に取得する]にチェックを付けます。**



4 **画面下の[次へ]ボタンをクリックします。**



5 **設定内容を確認して、[設定実行]ボタンをクリックします。**



6 **以下の画面が表示され、本製品が再起動します。**



以上で設定は終了です。ひきつづき設定する場合は、ボタンをクリックすると、トップページに戻ります。

注意！

■ルータの DHCP サーバより IP アドレスを取得できますが、ルータの機種によっては、IP アドレスを取得できない場合もあります。取得できない場合は、本製品の IP アドレスを、DHCP サーバが割り当てる IP アドレスと同一クラスで DHCP サーバが割り当てる IP アドレスの範囲外に設定してください。

■IP アドレスを DHCP サーバから自動取得する場合は、DHCP サーバの設定時に本製品の IP アドレスを予約するようおすすめします。
「IP アドレスを自動的に設定する」にした場合は、本製品の IP アドレスは変化するため分からなくなります。そのため、IP アドレスの予約ができる DHCP サーバ（例：Windows 2000 や NT サーバ）で、設定時に本製品の IP アドレスを予約してください。

■DHCP サーバより本製品の IP アドレスを取得する場合は、必ずパソコンより先に本製品の電源を入れた状態にしておいてください。

インジケータの表示/非表示を変える

ワイヤレスユニット前面のインジケータの表示ON/OFFを変えることができます。

1 設定画面の[設定を行う]をクリックします。

⇒設定画面が表示されます。



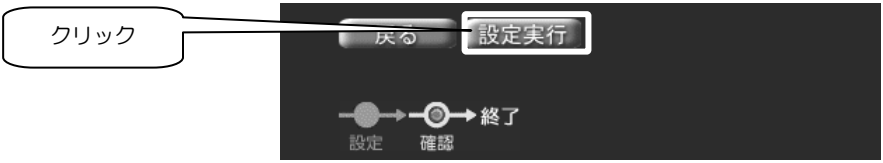
2 [ステータスインジケータ]の[On][Off]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

On …インジケータが本製品の状態を常に表示します。

Off …起動時、リセット時、ファームウェアの更新時のみインジケータが点きます。（その他は点灯しません。）



3 [設定実行]ボタンをクリックします。



4 以下の画面が表示され、本製品が再起動します。

ここで、設定画面は終了できます。



以上でインジケータの設定が変更されました。

現在の通信状態を確認する

現在の通信状態を確認します。

1 設定画面の[状態表示]ボタンをクリックします。

⇒現在の通信状態が表示されます。



参考

受信レベルについて
接続している無線 LAN の電波強度が棒グラフで表示されます。左側の青色の部分が多いほど電波強度が強いことを示します。
無線 LAN との通信が確立していない場合、棒グラフが赤枠で表示されます。

MEMO

ファイルを共有する

ここでは、LAN内でファイルを共有するときの設定例を説明します。

Windowsの場合

Windowsでファイル共有を行う例です。

68ページ

Mac OS Xの場合

Mac OS Xでファイル共有を行う例です。

88ページ

Mac OS（Classic）の場合

Mac OS（Classic）でファイル共有を行う例です。

97ページ

Windowsの場合

IPアドレスを確認する

ネットワーク上のすべてのパソコンには別々のIPアドレスが必要です。
ここでは、お使いのパソコンに設定するIPアドレスを確認します。

ネットワーク管理者にIPアドレスをご確認ください。
確認したIPアドレスを下に書き込んでください。
（詳しくは、【IPアドレス設定例】（84ページ）、【IPアドレスのクラス】（85ページ）をご覧ください。）

▼確認した（決めた）IPアドレスを記入してください。

IP アドレス	. . .

お使いのパソコンのOSごとに、このあとの設定方法が異なります。以下の必要なページのみご覧ください。

●Windows XPでご使用の場合
⇒【Windows XP】（次ページ）

●Windows 2000でご使用の場合
⇒【Windows 2000】（73ページ）

●Windows Me/98でご使用の場合
⇒【Windows Me/98】（78ページ）



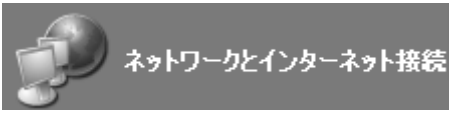
注意！

弊社では、本製品が正しく動作し、ファイルやプリンタの共有が確認できるまでをサポート範囲としております。

Windows XP

1 **[スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。**

2 **[ネットワークとインターネット接続]をクリックします。**



参考

[クラシック表示]の場合は、[ネットワーク接続]アイコンをダブルクリックして手順4へお進みください。



3 **[ネットワーク接続]をクリックします。**



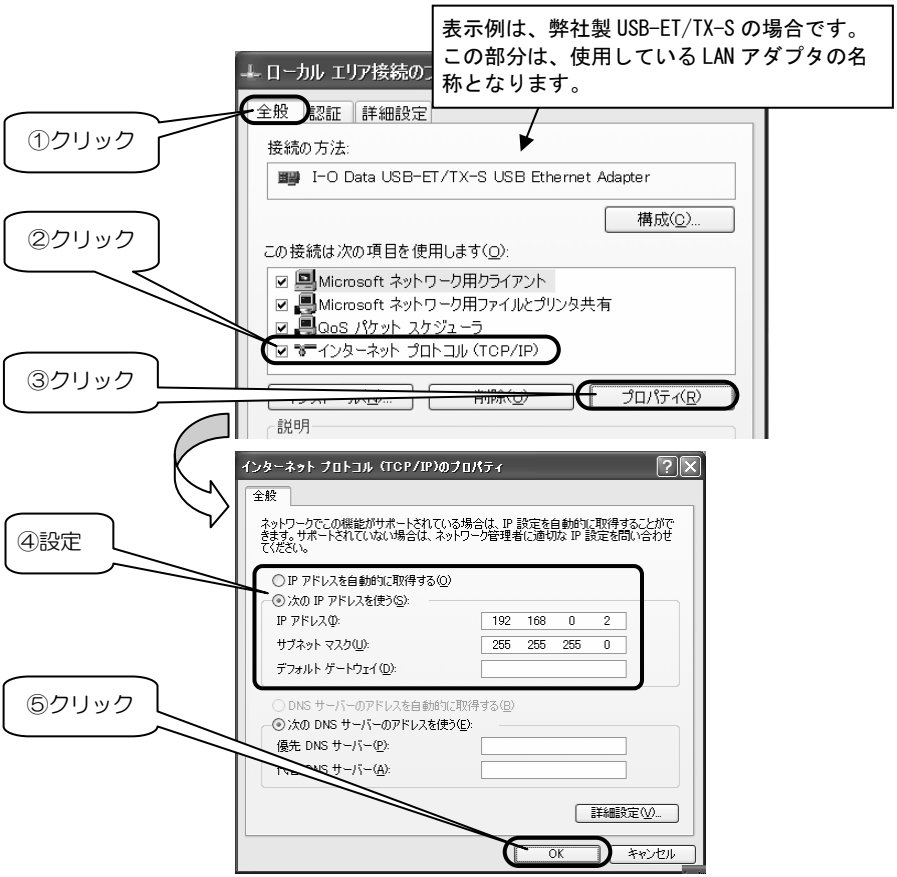
4 **[ネットワーク接続]では、インストール済みの[ローカルエリア接続]アイコンが表示されますのでアイコンを選択後、[この接続の設定を変更する]をクリックします。**



Windows XP（つづき）

5 **IPアドレスの設定を行います。**

①［全般］タブをクリックします。
②［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をクリックします。
③［プロパティ］ボタンをクリックします。
④【IPアドレスを確認する】（68ページ）で確認したIPアドレスを入力します。
⑤設定後、［OK］ボタンをクリックします。
⑥［ローカルエリア接続のプロパティ］画面に戻りますので、［OK］ボタンをクリックします。



Windows XP（つづき）

6 **[詳細設定]メニューの[ネットワークＩＤ]をクリックします。**

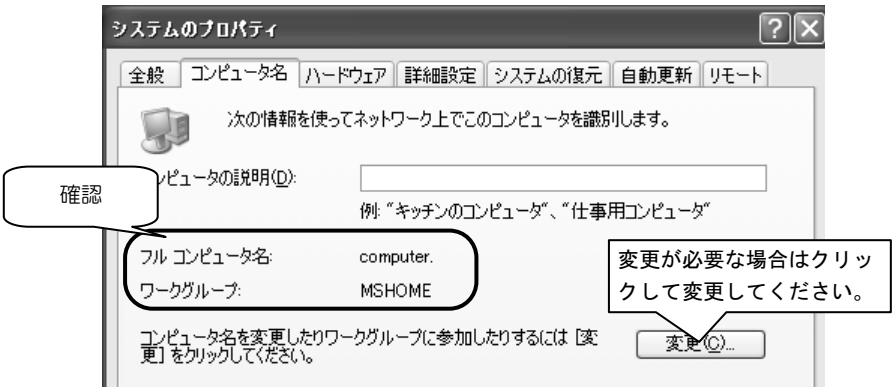


7 **［フル コンピュータ名］と［ワークグループ］が以下となっていることを確認してください。**

フル コンピュータ名	ネットワーク上のそれぞれのパソコンを識別するための名前。（それぞれのパソコンで別々な固有の名前を設定します。）※
ワークグループ	ネットワーク上でグループ分けするための名前。（同じグループではすべて同じグループ名を指定します。）※ 本製品を使って接続する同一ネットワーク上のすべてのパソコンで同じものを指定してください。

※相手のコンピュータが見えない等のトラブルを未然に防ぐため、半角英数字の使用をおすすめします。

変更が必要な場合は、[変更]ボタンをクリックしてください。

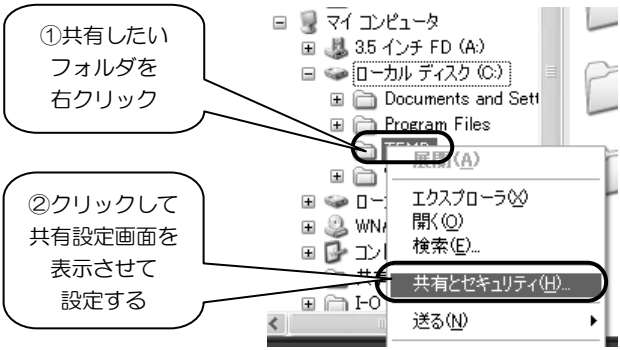


Windows XP（つづき）

8 **このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をします。**

詳細はWindows XPのヘルプを参照してください。

例：エクスプローラ上からの共有の設定



9 **後は、［マイネットワーク］から、本製品を装着した他のコンピュータ名や共有したフォルダ名が表示されます。**



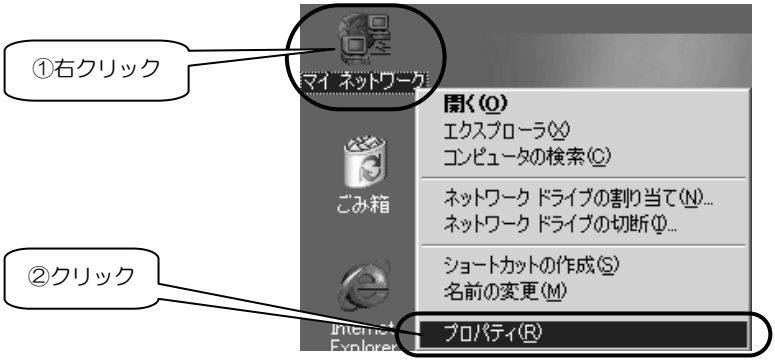
他のコンピュータ名が表示されない場合は…

【困ったときには】の 112 ページをご覧ください。

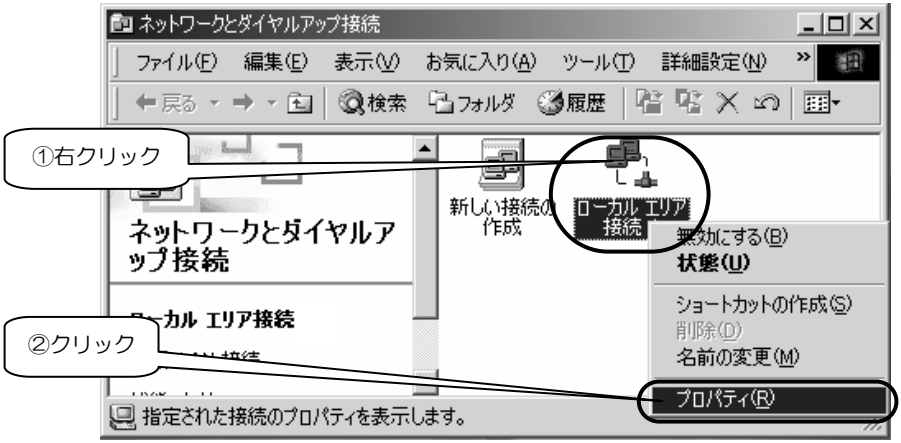
以上で設定は完了です。

Windows 2000

1 **[マイ ネットワーク]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。**



2 **[ローカルエリア接続]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。**



Windows 2000（つづき）

3 **以下が表示され、チェックされていることを確認します。**

［Microsoftネットワーク用クライアント］のチェック

［Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有］のチェック

［インターネットプロトコル（TCP/IP）］のチェック



Windows 2000（つづき）

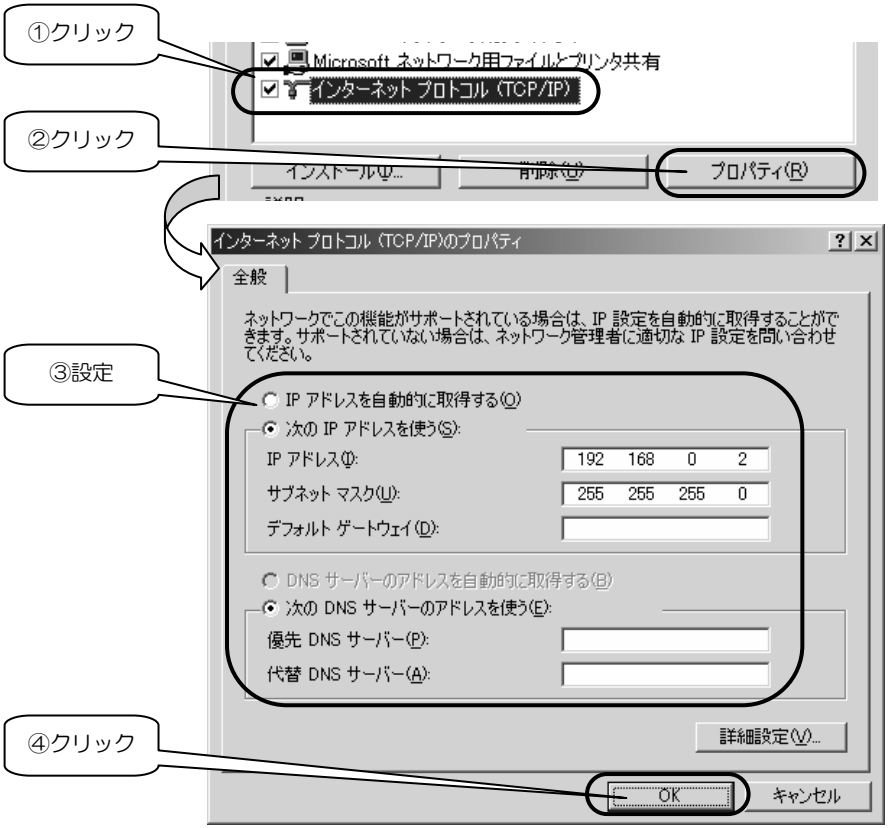
4 IPアドレスを設定します。

①［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をクリックします。

②［プロパティ］ボタンをクリックします。

③【IPアドレスを確認する】（68ページ）で確認したIPアドレスを入力します。

④［OK］ボタンをクリックします。



Windows 2000（つづき）

5 **[詳細設定]メニューの[ネットワークＩＤ]をクリックします。**

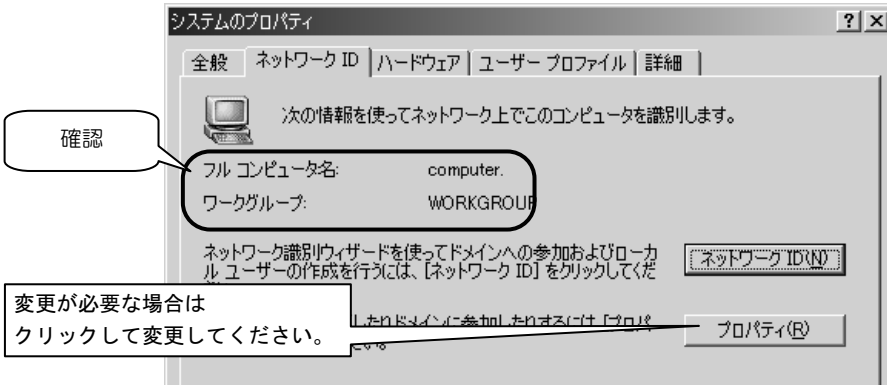


6 **［フル コンピュータ名］と［ワークグループ］が以下となっていることを確認してください。**

フル コンピュータ名	ネットワーク上のそれぞれのパソコンを識別するための名前。（それぞれのパソコンで別々な固有の名前を設定します。）※
ワークグループ	ネットワーク上でグループ分けするための名前。（同じグループではすべて同じグループ名を指定します。）※ 本製品を使って接続する同一ネットワーク上のすべてのパソコンで同じものを指定してください。

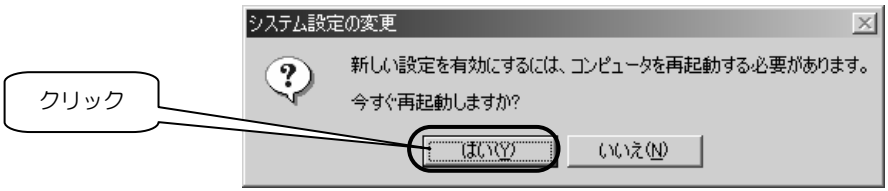
※相手のコンピュータが見えない等のトラブルを未然に防ぐため、半角英数字の使用をおすすめします。

変更が必要な場合は、[プロパティ]ボタンをクリックして、変更してください。



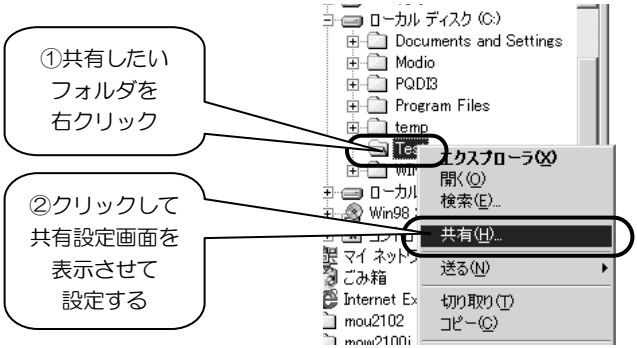
Windows 2000（つづき）

7 **[はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動してください。**



8 **このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をします。**（詳細はWindows 2000のヘルプを参照してください。）

（エクスプローラ上からの共有の設定）



9 **後は、［マイネットワーク］から、本製品を装着した他のコンピュータ名や共有したフォルダ名が表示されます。**



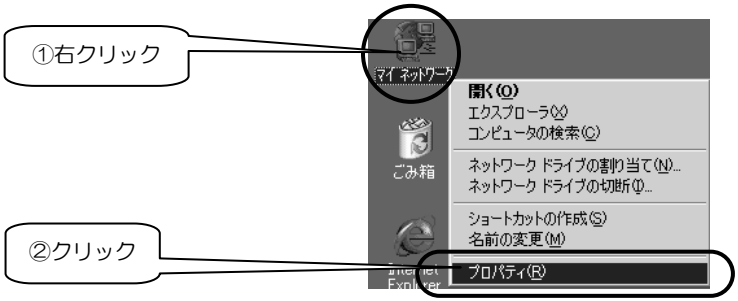
他のコンピュータ名が表示されない場合は…

【困ったときには】の 112 ページをご覧ください。

以上で設定は完了です。

Windows Me/98

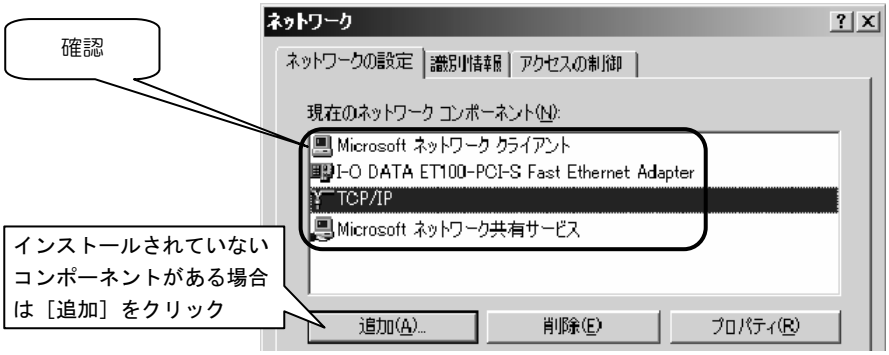
1 [マイ ネットワーク]（ネットワークコンピュータ）を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。



2 以下（のコンポーネント）が表示されているかを確認します。

- [Microsoftネットワーククライアント]
- [I-O DATA xxxxx Ethernet Adapter] などお使いのLANアダプタ名
- [TCP/IP]
- [Microsoftネットワーク共有サービス]

※ [TCP/IP] と表示されずに、[TCP/IP->I-O DATA xxxxx Ethernet Adapter] などと表示されている場合もあります。



Windows Me/98（つづき）

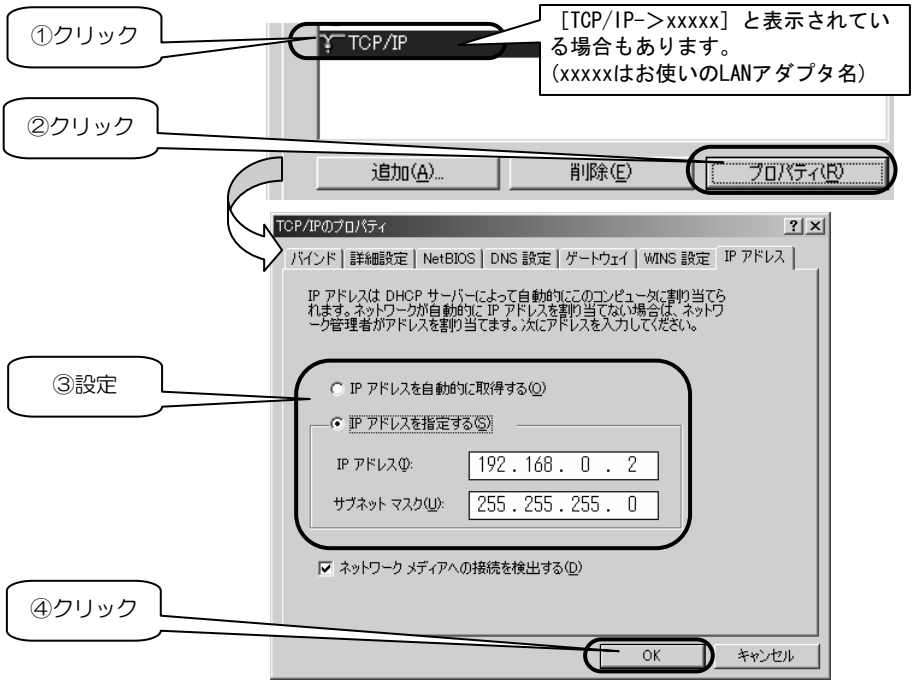
3 IPアドレスを設定します。

① [TCP/IP]（あるいは [TCP/IP->xxxxx]）をクリックします。

② [プロパティ] ボタンをクリックします。

③【IPアドレスを確認する】（68ページ）で確認したIPアドレスを入力します。

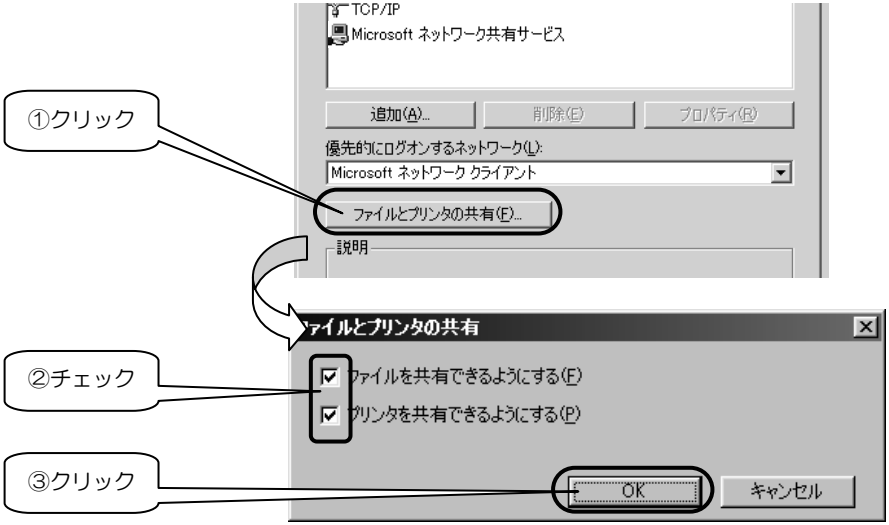
④ [OK] ボタンをクリックします。



Windows Me/98（つづき）

4 このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をします。

［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックし、共有したい項目をチェックします。チェック後、［OK］ボタンをクリックします。

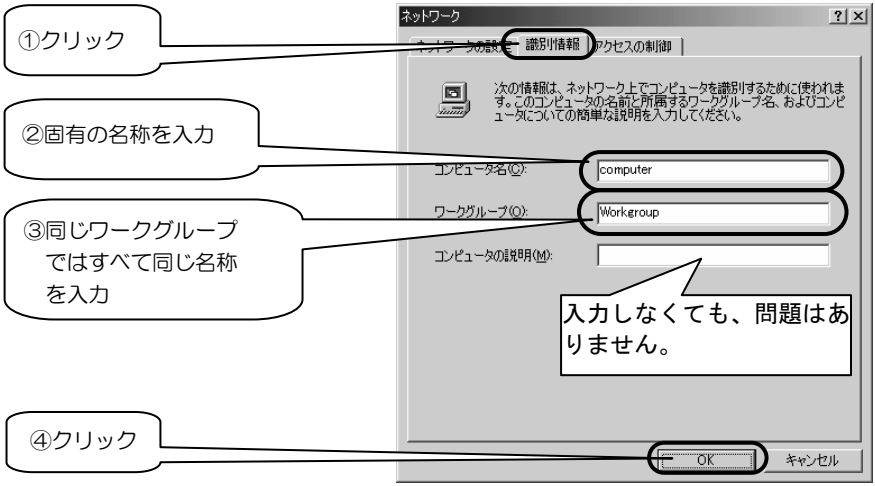


Windows Me/98（つづき）

5 **［識別情報］タブをクリックして、［コンピュータ名］と［ワークグループ］に以下を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。**

コンピュータ名	ネットワーク上のそれぞれのパソコンを識別するための名前。（それぞれのパソコンで別々な固有の名前を設定します。）※
ワークグループ	ネットワーク上でグループ分けするための名前。（同じグループではすべて同じグループ名を指定します。）※ 本製品を使って接続する同一ネットワーク上のすべてのパソコンで同じものを指定してください。

相手のコンピュータが見えない等のトラブルを未然に防ぐため、半角英数字の使用をおすすめします。



⇒次のような画面が表示された場合は…



①WindowsのCD-ROMを挿入します。

②［OK］ボタンをクリックします。

Windows Me/98（つづき）

⇒以下のような画面が表示された場合は…



［ファイルのコピー元］に以下を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

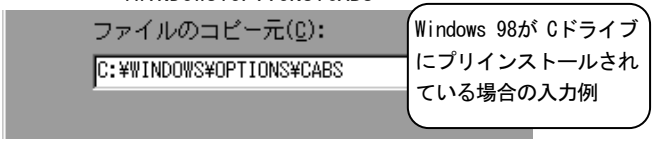
・Windows 98をご自分でインストールした場合

D:¥WIN98　　（CD-ROMドライブがDドライブの場合）

・Windows 98プリインストールパソコンをお使いの場合

Windowsがインストールされているドライブの

¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS



・他のWindowsからWindows Meへアップグレードインストールした場合　（CD-ROMからWindows Meをインストールした場合）

C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥INSTALL

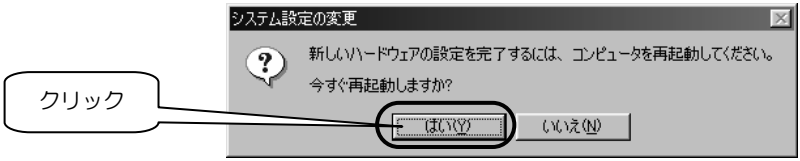
注意！

以下のアップグレードをした場合は、「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」は選択せず、CD-ROM ドライブを参照してください。

- **Windows 95 プリインストールモデルを、Windows 98 へアップグレードした場合**
- **Windows 98プリインストールモデルをWindows 98へアップグレードした場合**

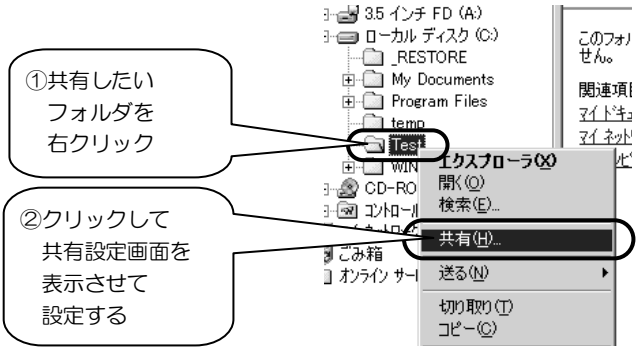
Windows Me/98（つづき）

6 **[はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動してください。**

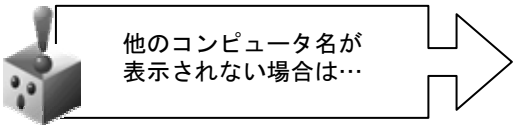


7 **このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をします。**（詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。）

（エクスプローラ上からの共有の設定）



8 **［マイネットワーク］（ネットワークコンピュータ）をダブルクリックすれば、本製品を装着した他のコンピュータ名や共有したフォルダ名が表示されます。**

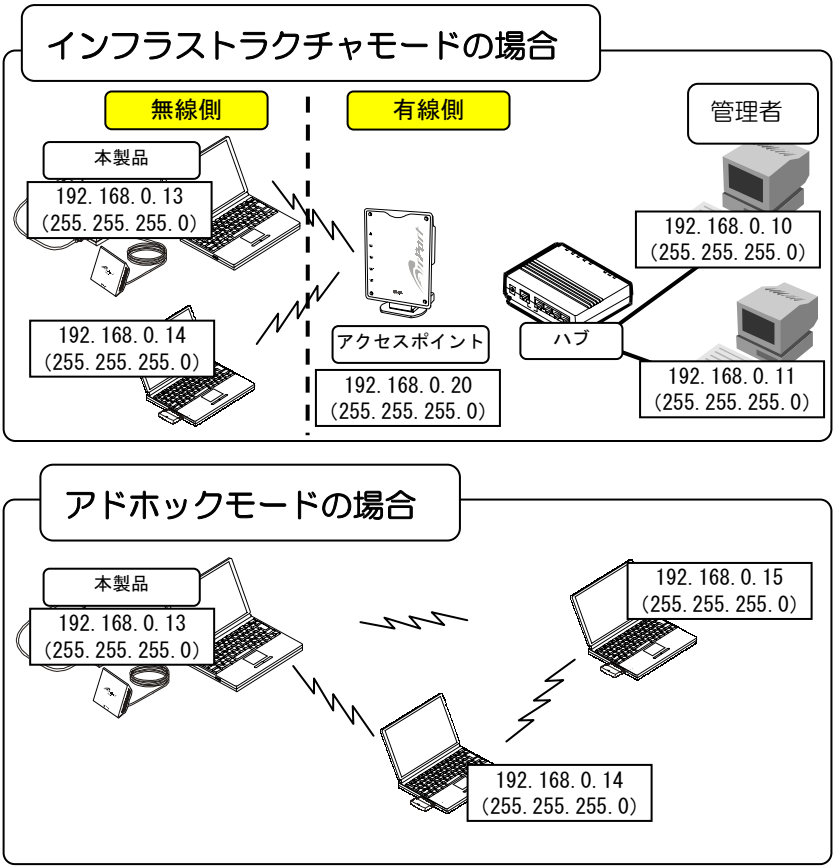


【困ったときには】の 112 ページをご覧ください。

以上で設定は完了です。

IPアドレスの設定例

内の上段はIPアドレス
内の下段はサブネットマスク



参考

上図は、IP アドレスを固定した場合の例です。自動取得に設定している場合で、DHCP サーバが存在しない場合は、「169.254.xxx.xxx」というアドレスが自動生成されます。

IPアドレスのクラス

IPアドレスは、ネットワークを構成するパソコンの台数に応じて、３つのクラスに分かれます。
大規模なネットワークならば［クラスＡのIPアドレス］、中規模なら［クラスＢのIPアドレス］、小規模の場合は［クラスＣのIPアドレス］となります。
同一のネットワーク内では、同一クラスのIPアドレスである必要があります。
実際には、IPアドレスは、ピリオドで区切られた４つの数字の羅列で構成されていて、４つのうち最初の数字で、クラスが分けられます。



クラスは以下のように分類されています。

IP アドレスの最初の数字※	クラス	用途（ネットワークを構成するパソコンの台数）
１～１２６	クラスＡ	大規模ネットワーク用（最大約 1600 万台）
１２８～１９１	クラスＢ	中規模ネットワーク用（最大約 65000 台）
１９２～２２３	クラスＣ	小規模ネットワーク用（最大 254 台）

※「127、224～255」は通常の IP アドレスとしては使われていません。

例えば、数台～数十台で構成されるネットワークでは、クラスＣのIPアドレスを使用します。
通常、ネットワークを構成する場合は、以下の特別なローカルIPアドレスを使用します。

クラス	設定する IP アドレス
クラスＡ	10. 0. 0. 0　～　10. 255. 255. 255
クラスＢ	172. 16. 0. 0　～　172. 31. 255. 255
クラスＣ	192. 168. 0. 0　～　192. 168. 255. 255

IPアドレスの設定の確認

パソコンに設定しているIPアドレスの確認や、パソコン間での正常な通信（接続）の確認は、Windows標準のコマンドで行うことができます。

●設定したIPアドレスの確認方法

・Windows XPの場合

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］をクリックします。

2 IPCONFIG /ALL と入力し、［ENTER］キーを押します。

3 IPアドレスが正常に表示されるか確認してください。

・Windows 2000の場合

1 ［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］をクリックします。

2 IPCONFIG /ALL と入力し、［ENTER］キーを押します。

3 IPアドレスが正常に表示されるか確認してください。

・Windows Me/98の場合

1 ［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックします。

2 ［名前］に WINIPCFG を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

3 お使いのアダプタを選択し、IPアドレスが正常に表示されるか確認してください。
［IPアドレス］が「0.0.0.0」と表示された場合は、正常にIPアドレスが設定されていません。

●通信や接続が正しくできるかの確認方法（PINGコマンド）

Windows標準のPINGコマンドを使用して相手先のパソコンに正常に通信、あるいは接続が正常かを確認することができます。



注意！

以下で使用するPINGコマンドを使用するには、パソコンにTCP/IPがインストールされている必要があります。

1 [MS-DOSプロンプト]（またはコマンドプロンプト）を起動します。

・Windows XPの場合
　[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を順にクリックして起動します。

・Windows 2000の場合
　[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を順にクリックして起動します。

・Windows Meの場合
　[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[MS-DOSプロンプト]を順にクリックして起動します。

・Windows 98の場合
　[スタート]→[プログラム]→[MS-DOSプロンプト]を順にクリックして起動します。

2 以下のように入力し、[ENTER]キーを押します。

PING xxx.xxx.xxx.xxx（xxx.xxx.xxx.xxxは相手先のIPアドレス）

入力例）　相手先のIPアドレスが「192.168.0.10」の場合は以下のように入力します。
　PING　192.168.0.10

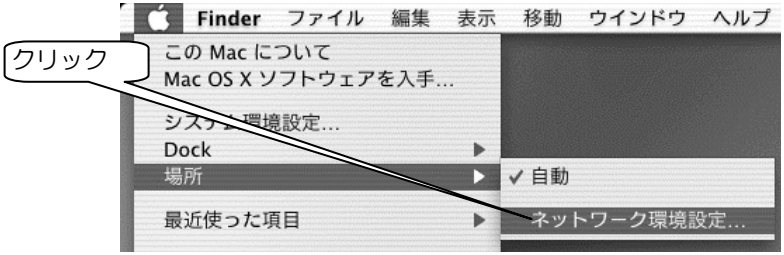
3 正常に相手先が表示されるか確認してください。

正常なら「Reply from xxx.xxx.xxx.xxx」などと表示されます。
正常に接続されない場合、「Request timed out」や「Destination host unreachable」などと表示されます。

Mac OS Xの場合

①Apple Talkを有効にする

1 **[アップルメニュー]→[場所]→[ネットワーク環境設定]をクリックします。**



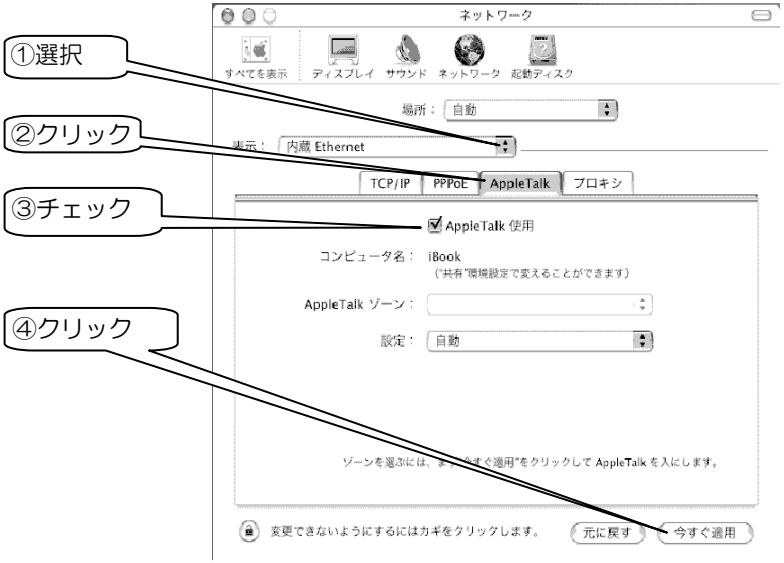
2 **ネットワーク環境設定をします。**

①[表示]で[内蔵Ethernet]または[Ethernet]を選びます。

②[AppleTalk]をクリックします。

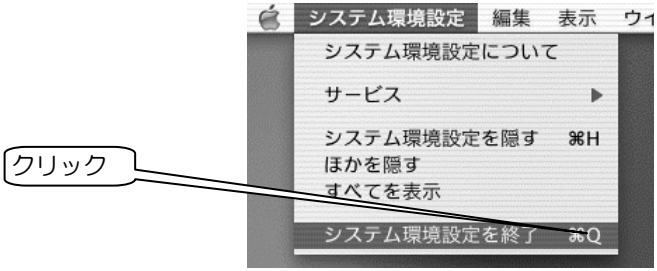
③[AppleTalk使用]にチェックします。

④[今すぐ適用]をクリックします。



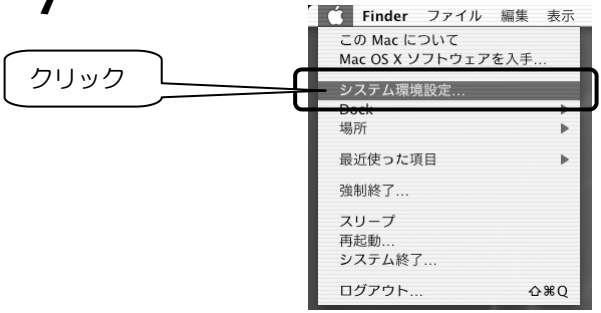
3 **[システム環境設定]→[システム環境設定を終了]をクリックします。**

ネットワークの設定を終了します。



②ファイル共有を有効にする

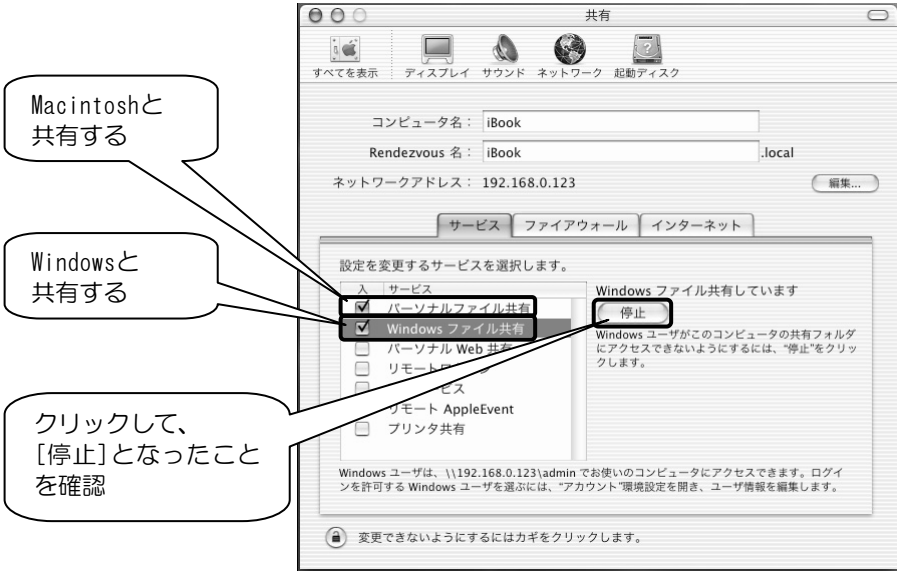
1 **[アップルメニュー]→[システム環境設定]をクリックします。**



2 **[インターネットとネットワーク]の[共有]をダブルクリックします。**



3 **[パーソナルファイル共有]にチェックを付けます。**
Windowsユーザともファイル共有する場合は、[Windowsファイル共有]にチェックを付けます。
[開始]ボタンをクリックし、[停止]となったことを確認します。



注意！

《Windowsユーザとファイル共有する場合》



- **上記手順3の前に、手順2の画面で[アカウント]の設定変更をする必要があります。**
- **Mac OS Xのワークグループをwindowsのワークグループに合わせる必要があります。**

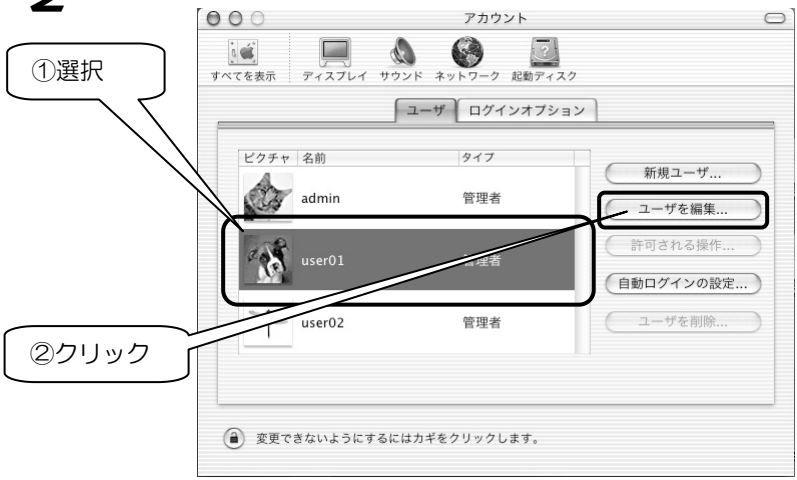
詳しくは次ページ以降をご覧ください。

Windowsユーザのアカウント設定変更方法

1 **システム環境設定画面で[システム]内の[アカウント]をダブルクリックします。**



2 **ユーザを選択して、[ユーザを編集]ボタンをクリックします。**



3 **[ユーザがWindowsからログインするのを許可する]にチェックを付け、[OK]ボタンをクリックします。**



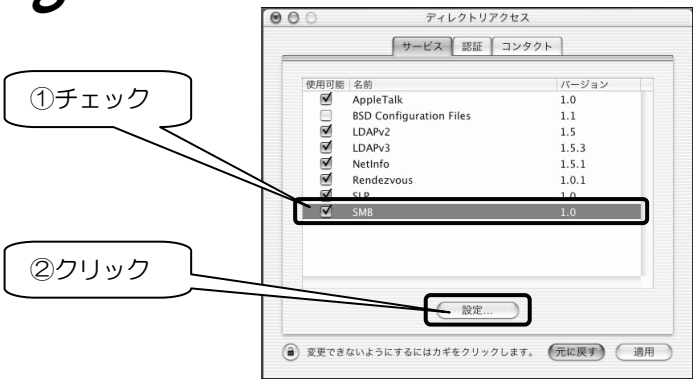
Mac OS Xのワークグループ変更方法

1 デスクトップ上の[Macintosh HD]→[アプリケーション]→[ユーティリティ]を順にダブルクリックします。

2 [ディレクトリアクセス]アイコンをダブルクリックします。



3 [SMB]にチェックを入れ、[設定]ボタンをクリックします。



4 [ワークグループ]をWindowsのものに変更し、[OK]ボタンをクリックします。



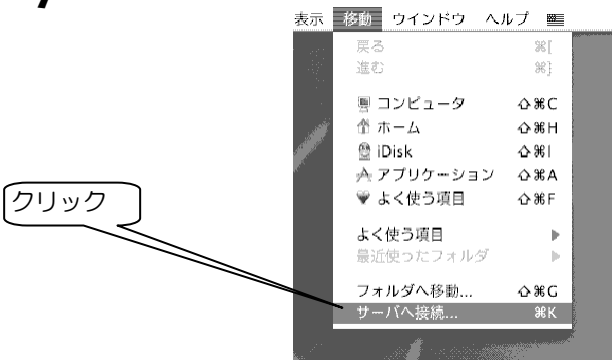
5 [ディレクトリアクセス]画面に戻りますので、[適用]ボタンをクリックします。

参考

ワークグループはネットワーク上でグループ分けするための名前です。同じグループでは同じワークグループ名を使用します。

③ファイルサーバにアクセスする

1 **[移動]メニュー→[サーバへ接続]をクリックします。**

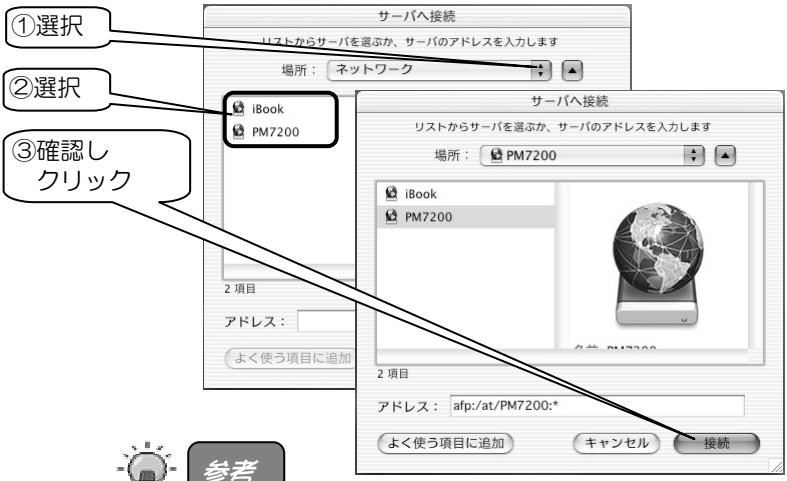


2 **以下の手順で接続します。**

①[サーバへ接続]画面が表示されますので［場所]で[ネットワーク]
または[ローカルエリアネットワーク]を選択します。

②接続するファイルサーバを選択します。

③[場所]を確認し、[接続]をクリックします。



参考

[場所]には過去に接続したことのあるサーバが表示されます。2 回目以降の接続の際は、リストから選択することができます。

3 **[パスワード]を入力し、[接続]をクリックします。**



4 **マウントするボリュームが選択されていることを確認して、[OK]ボタンをクリックします。**



5 デスクトップ上にファイルサーバの共有フォルダがマウントされていることをご確認ください。



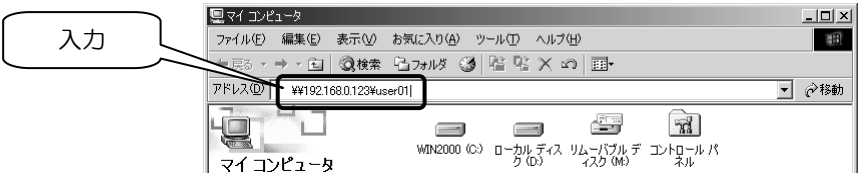
WindowsユーザがMac OS Xのファイルサーバへアクセスする

※ファイルサーバのIPアドレスは[192.168.0.123]に固定されているものとします。また、Mac OS Xにて「アカウント」と「ワークグループ」が変更されている必要があります。（92ページ以降参照）

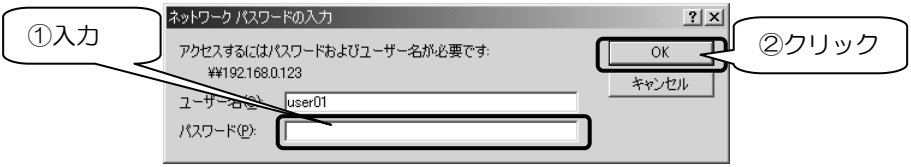
1 **[マイコンピュータ]を開き、[アドレス]に下記のように入力し、[Enter]キーを押します。**

¥¥(接続先のIPアドレス)¥(ユーザ名)

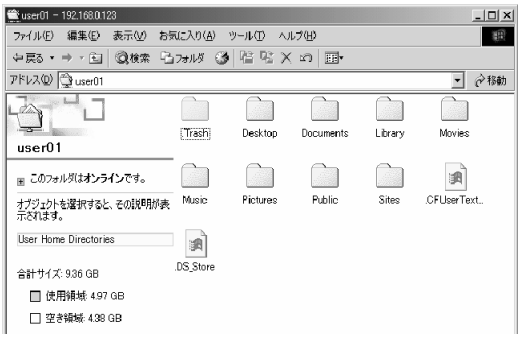
例： ¥¥192.168.0.123¥user01



2 **パスワード入力画面が表示されますので、[パスワード]を入力し、[OK]ボタンをクリックします。**



3 **ファイルサーバへアクセスできます。**

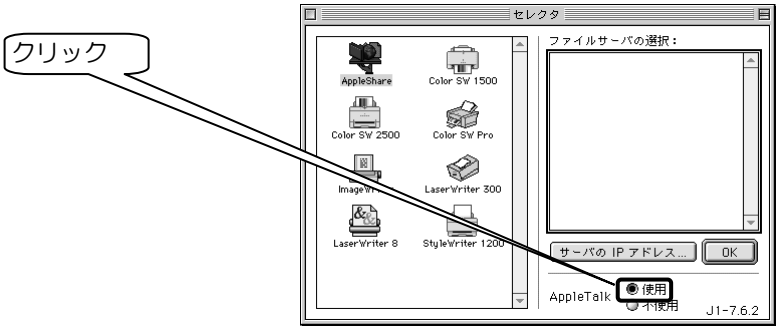


Mac OS（Classic）の場合

①Apple Talkを有効にする

1 [アップルメニュー]→[セレクタ]を選択します。

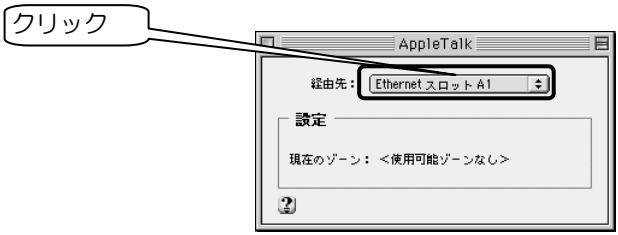
2 画面右下の[AppleTalk]の[使用]にチェックを付けます。



②Apple Talk経由先を指定する

1 [アップルメニュー]→[コントロールパネル]→[Apple Talk]を選択します。

2 Apple Talk画面で、経由先に[Ethernet]を選択します。



③ファイル共有を有効にする

1 **[アップルメニュー]→[コントロールパネル]→[ファイル共有]を選択します。**

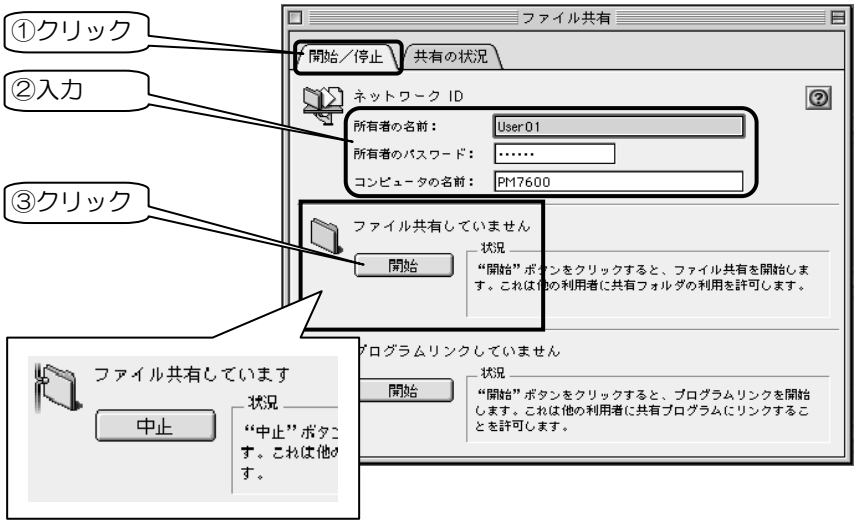
2 **ファイル共有の設定をします。**

①[開始/停止]タブをクリックします。

②変更が必要な場合は、[所有者の名前]、[所有者のパスワード]、[コンピュータの名前]を入力します。

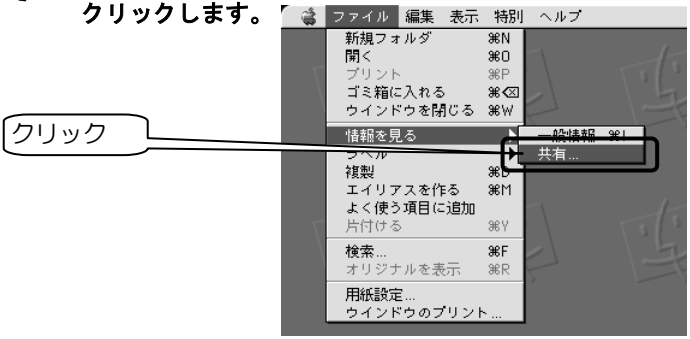
③[ファイルを共有していません]下にある[開始]ボタンをクリックします。

→ファイルの共有が開始すると、[ファイルを共有しています]と表示が変わり、ボタンも[中止]に変わります。



④共有フォルダを公開する

1 **共有するフォルダを選択し、[ファイル]→[情報を見る]→[共有...]をクリックします。**



2 **共有するフォルダの設定をします。**

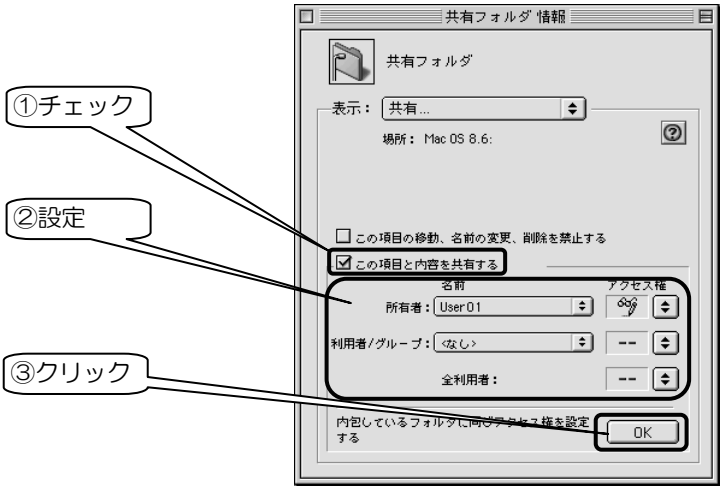
①[この項目と内容を共有する]にチェックを付けます。

②アクセス権の設定をします。

所有者は読み書き可能な設定にしてください。

利用者/グループのアクセス権に関しては次ページをご覧ください。

③[OK]ボタンをクリックします。

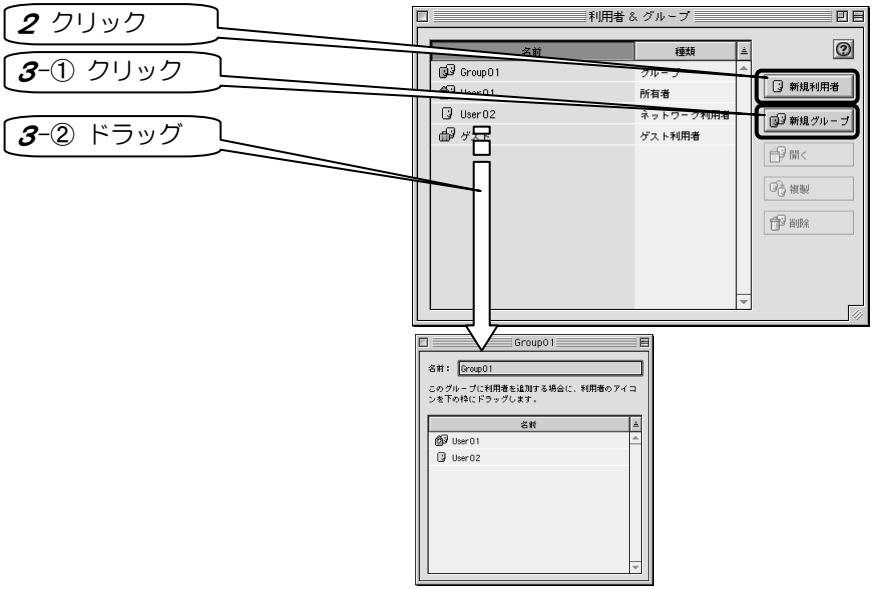


利用者&グループのアクセス権を指定する

1 **[アップルメニュー]→[コントロールパネル]→[利用者&グループ]を選択します。**

2 **[新規利用者]ボタンをクリックし、共有フォルダにアクセスするユーザを作成します。**

3 **グループを作成します。**
①[新規グループ]ボタンをクリックします。
②作成したグループに属するユーザをドラッグして指定します。



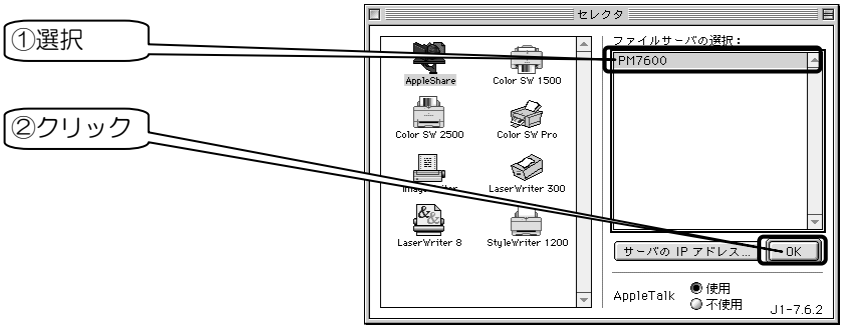
4 **前ページの方法で[共有フォルダ情報]画面を開き、[利用者/グループ]のアクセス権の設定をします。**
⇒設定後、共有フォルダのアイコンは
右のようになります。



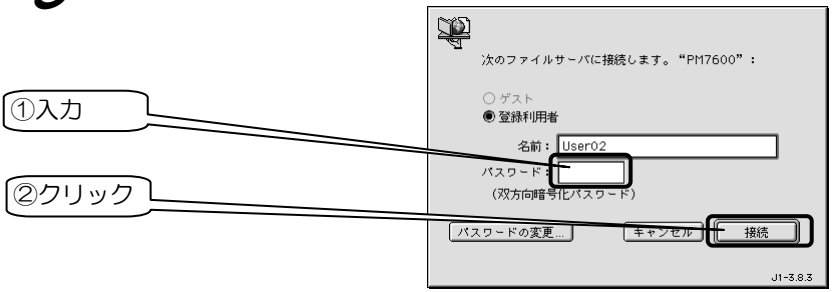
⑤ファイルサーバへアクセスする

1 [アップルメニュー]→[セレクタ]を選択します。

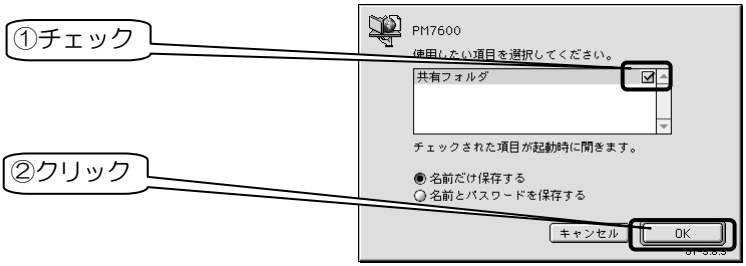
2 [AppleShare]を選択するとネットワーク上に公開されているMacintoshのコンピュータ名が表示されますので、接続するファイルサーバ名を選択して[OK]ボタンをクリックします。



3 [パスワード]を入力し、[接続]ボタンをクリックします。



4 **ユーザー認証が完了すると接続したファイルサーバで公開されている、フォルダが表示されますので、使用するフォルダにチェックを入れて[OK]ボタンをクリックします。**



5 **ログインが完了すると、デスクトップ上にネットワークドライブとしてマウントされます。**



その他

本製品を壁掛けで使う

本製品を壁に掛けて使用する方法を説明します。

104ページ

出荷時設定に戻す

本製品のIPアドレスを忘れてしまったときなどに、本製品の設定を出荷時設定に戻します。

106ページ

ファームウェアを更新する

本製品のファームウェアの更新ができます。

107ページ

困った時には

本製品を使用して異常があった場合にご覧ください。

109ページ

用語解説

用語について説明します。

114ページ

仕様

本製品の仕様です。

117ページ

アフターサービス

本製品の問い合わせ先、修理先です。

119ページ

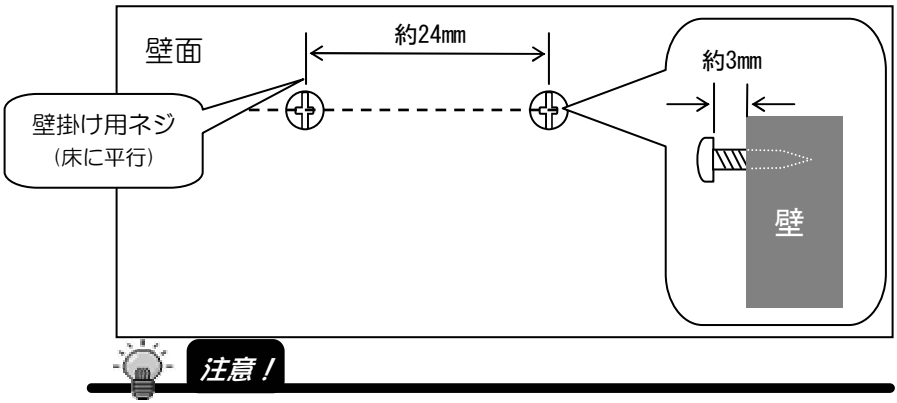
本製品を壁掛けで使う

本製品は壁掛けで使用できます。下記の手順にしたがって取り付けてください。

1 本製品を固定する場所を決め、ネジ２本を用意します。

2 ネジ２本をプラスドライバなどで、以下のように壁に取り付けます。

- ２本のネジは床に対して平行（床から同じ高さ）
- ネジの中心同士は約24㎜
- ネジ頭の底面が、壁から約3㎜程度



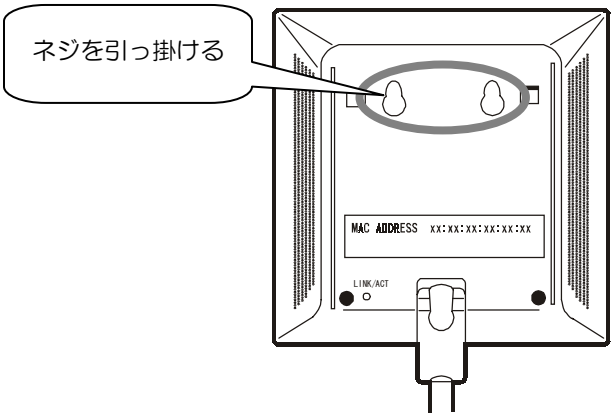
注意！

壁掛け用ネジを取り付ける壁の材質に注意してください。
石膏ボードや薄いベニヤ板などでは、［壁掛け用ネジ］がゆるみ、本製品が落下する恐れがあります。

3 本製品を［壁掛け用ネジ］に引っ掛けて固定してください。

本製品が傾いたり、ガタつく場合は、２本のネジ位置、ネジ間隔、ネジ頭の長さを調整してください。

▼本製品のリアパネルを外した状態
（リアパネルはケーブル方向に
ずらすように外します。）



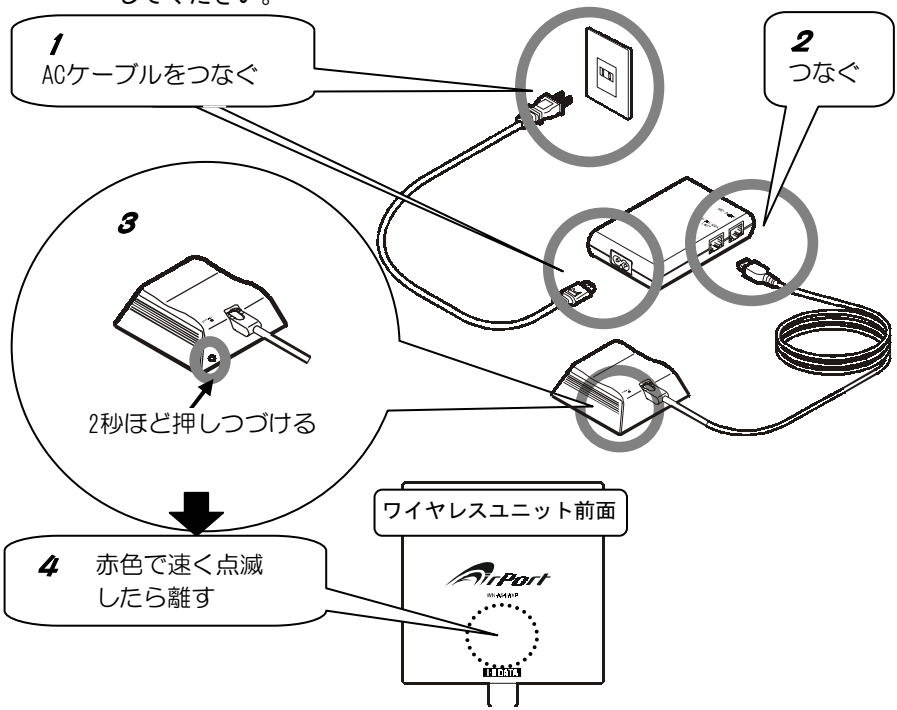
出荷時設定に戻す

本製品のIPアドレスを忘れてしまったときなどに、本製品を出荷時設定に戻します。

注意！

以下の手順を行うと、設定内容はすべて出荷時設定に戻ります。

1. **ACケーブルをつなぎます。**
2. **ワイヤレスユニットを、ACユニットのWIRELESS UNITポートにつなぎます。**
3. **リセットボタンを細いピンなどで押しつづけます。**
   →インジケータが赤色で点灯します。
4. **そのまま2秒ほど押し続け、インジケータが赤色で速く点滅することを確認したら、離します。**
5. **自動で再起動します。(起動中インジケータが白色で速く点滅)**
   起動後のインジケータの光り方については、16ページをご覧ください。
   出荷時設定（118ページ参照）に設定されますので、再度設定をやり直してください。



ファームウェアを更新する

本製品のファームウェアの更新ができます。

注意！

- **ファームウェアの更新は、本製品のNETWORKポートに接続したパソコンから行ってください。**
- **Mac OSからは本製品のファームウェア更新はできません。ファームウェアの更新を行う際はWindowsパソコンから行ってください。**

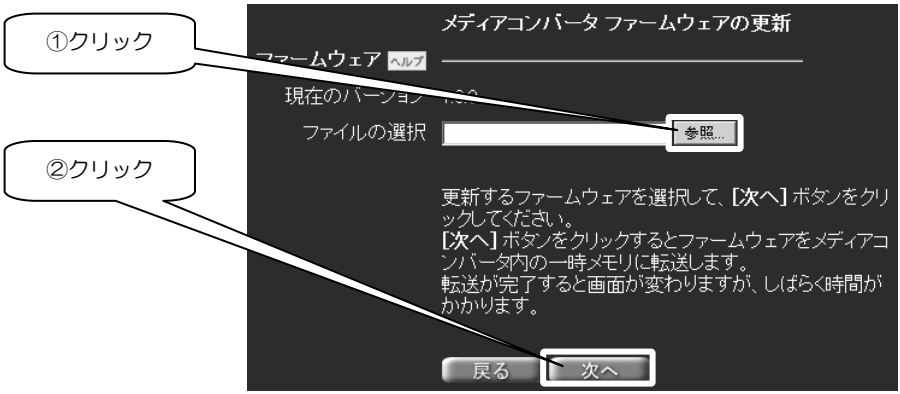
1 弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/lib/）で最新のファームウェアを入手します。

2 設定画面の[アップデート]をクリックします。

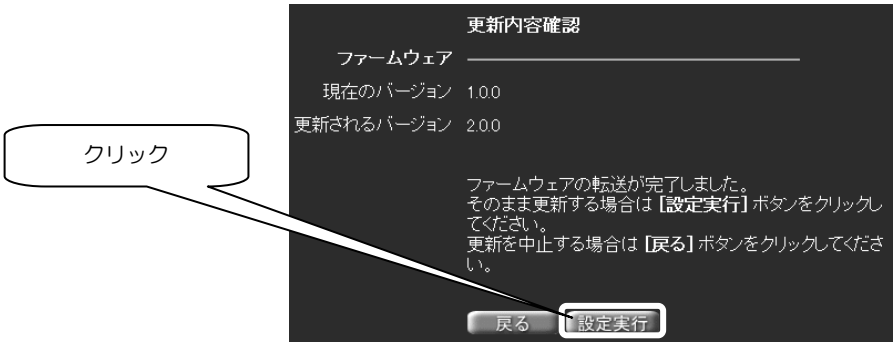


3 ファイルの選択の[参照]ボタンをクリックし、*1*で入手したファームウェアを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

本製品(WN-A54/LAN)以外のファームウェアを選ばないでください。

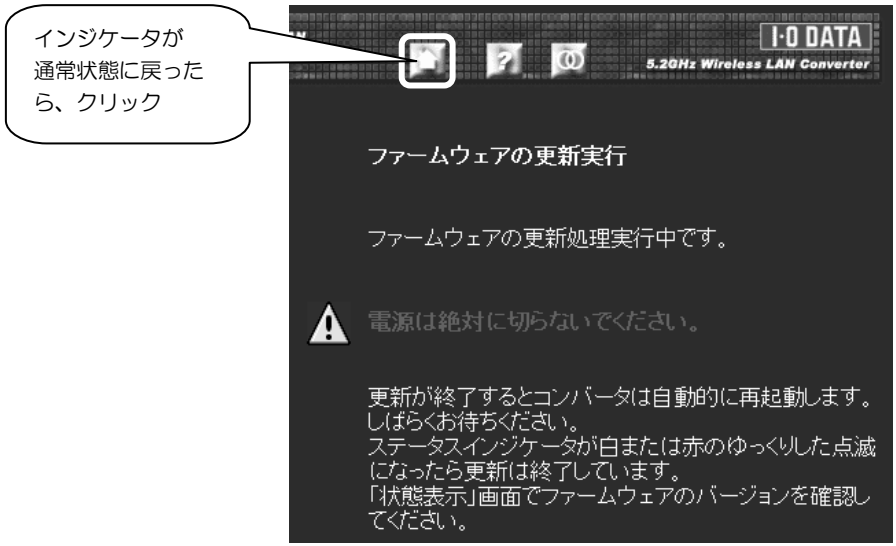


4 ファームウェアのバージョンを確認して、[設定実行]ボタンをクリックします。



5 以下の画面が表示されます。

この間、インジケータが赤色で速く点滅します。**電源は絶対に切らないでください。**インジケータが通常状態（白色または赤色でゆっくり点滅）になったら、 をクリックして、トップページに戻ります。



以上で設定は終了です。

困った時には

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q＆A Newsなど

ファームウェアをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のファームウェアをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新ファームウェア

状態	参照ページ
本製品を取り付けてもインジケータが点灯しない	110
暗号化（WEP）を使用したら通信速度が低下した	110
無線LAN製品側のパソコンと通信できない	110
通信速度が遅い	111
Web設定画面が表示されない	111
[マイネットワーク]（ネットワークコンピュータ）に、他のコンピュータ名が表示されない	112
アクセスポイント側でMACアドレス接続制限の設定をしたら通信できなくなった	113

本製品を取り付けてもインジケータが点灯しない

原因１	ACユニットを取り付けていない
対処	付属のACユニットを取り付けてください。ACユニットは必ず付属のものをご使用ください。
原因２	本製品の接続するポートが間違っている。
対処	LANケーブルやワイヤレスユニットの接続をご確認ください。

暗号化（WEP）を使用したら通信速度が低下した

原因	暗号化通信では、送信するデータをすべて暗号化／復号化する必要がありますので、通信速度が若干低下します。

無線LAN製品側のパソコンと通信できない

原因１	無線LAN製品側パソコンの無線の設定が正しくない
対処	無線LAN製品側のSS IDと、本製品のSS IDが同じになっていることを確認してください。
原因２	無線LAN製品側のパソコンがWindows Me/98の場合で、正常にログインしていない（パソコン起動時の［ユーザー名］［パスワード］の入力画面で［キャンセル］ボタンをクリックしているなど）
対処	パソコン起動時の［ユーザー名］［パスワード］の入力画面で正しい［ユーザー名］［パスワード］を入力してください。
原因３	無線LAN製品側のパソコンのIPアドレスの設定が正しくない
対処	無線LAN製品側のパソコンでTCP/IPを使用している場合は、正しいIPアドレスを設定してください。
原因４	電波の状態が悪い
対処	無線LAN製品と本製品間の距離を短くしたり、障害物を取り除いて見通しをよくしたり、チャンネルを変更してみてください。
原因５	暗号化キーの設定があっていない
対処	本製品と無線LAN製品側の暗号化キーの設定を同じ暗号化キーにしてください。

原因６	無線LAN製品側のパソコンのIPアドレスをDHCPサーバから正しく取得していない
対処	IPアドレスをDHCPサーバから取得している場合は、DHCPサーバが起動していること、本製品の電源が入っていることを確認してから、無線LAN製品側のパソコンの電源を入れてください。 または、以下の条件のIPアドレスに手動設定してください。 ・”DHCPサーバが割り当てるIPアドレスと同一クラス”　かつ 　”DHCPサーバが割り当てるIPアドレスの範囲外”

原因７	アクセスポイントで、MACアドレス接続制限をしている。
対処	【アクセスポイント側でMACアドレス接続制限の設定をしたら通信できなくなった】（113ページ）をご覧ください。

原因８	セキュリティ関連のソフトウェアをインストールしている。
対処	セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

通信速度が遅い

原因	電波の状態が悪い
対処	無線LAN製品と本製品間の距離を短くしたり、障害物を取り除いて見通しをよくしたり、チャンネルを変更してみてください。

Web設定画面が表示されない

対処１	本製品のLINK/ACTランプが点灯/点滅している事をご確認ください。 消灯している場合は、本製品の接続をご確認ください。【①本製品を設定用パソコンに接続する】（18ページ）をご覧ください。

対処２	設定用パソコンのIPアドレスが正しいことをご確認ください。 【②IPアドレスを設定する】（19ページ）をご覧ください。

対処３	Webブラウザの設定（プロキシなど）をご確認ください。 【③Webブラウザの設定をする】（31ページ）をご覧ください。

［マイネットワーク］（ネットワークコンピュータ）に、他のコンピュータ名が表示されない

原因１	本製品を正しく取り付けていない。
対処	本製品の接続をご確認ください。【①本製品を設定用パソコンに接続する】（18ページ）をご覧ください。
原因２	《アクセスポイントを使用していない場合》 通信先と同じSS IDを設定していない。
対処	通信先と同じSS IDにする必要があります。SS IDを同じ値にしてください。
原因３	《アクセスポイントを使用していない場合》 通信先のパソコンの通信チャンネルの値を同一にしていない。
対処	アクセスポイントが無い場合は、通信先と同じ通信チャンネルにする必要があります。【チャンネルを変更する】(58ページ)を参照して、通信チャンネルを同じ値にしてください。
原因４	《アクセスポイントを使用していない場合》 通信先のパソコンと同じワークグループ名が指定されていない。
対処	ネットワーク上のすべてのパソコンに対し、同じワークグループ名を指定してください。詳しくは、【ファイルを共有する】(67ページ)をご覧ください。
原因５	《アクセスポイントを使用している場合》 アクセスポイントと同じSS IDを設定していない。
対処	アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントと同じSS IDにする必要があります。SS IDを同じ値にしてください。
原因６	IPアドレスの設定が間違っている。
対処	IPアドレスの設定をご確認の上、正しい設定にしてください。

原因７	無線状態が悪く、電波が届かない。
対処	無線間の距離を短くしたり、障害物を取り除いたり、通信チャンネルを変更してから、再度試してみてください。

原因８	セキュリティ関連のソフトウェアをインストールしている。
対処	セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

アクセスポイント側でMACアドレス接続制限の設定をしたら通信できなくなった

原因	本製品は本製品に有線接続されている機器（ACユニットのNETWORKポートに接続されている機器）のMACアドレスを利用して通信します。
対処	MACアドレス接続制限（フィルタリング）の設定には、本製品と有線接続されている機器のMACアドレスを設定してください。 例えば、プリントサーバに接続する場合はプリントサーバのMACアドレスを設定します。 ※有線接続されている機器のMACアドレスは本製品設定画面の[状態表示]に[接続端末のMACアドレス]として表示されます。

用語解説

Ad hoc［アドホック］

アクセスポイントを介さずに、パソコン同士が直接通信しあう形態です。
他にインフラストラクチャモード（Infrastructure mode）があります。

DHCPサーバ（Dynamic Host Configuration Protocol Server）

各クライアントやEthernet機器へ起動時に動的にIPアドレスを割り当て、
終了時にIPアドレスを回収するためのプロトコルです。
同時にゲートウェイアドレスやドメイン名、サブネットマスクその他の情報を
ネットワーク上のクライアントやEthernet機器へ通知することもできます。

この動的にIPアドレスの割当を行う側の機器がDHCPサーバと呼ばれます。
ダイアルアップルータ等の機器もDHCPサーバの機能を持っています。

Ethernet［イーサネット］

米国ゼロックス社、ディジタル・イクイップメント社、インテル社によって開発されたネットワーク通信方式です。当初この方式は、基礎帯域伝達、CSMA/CDアクセス、論理バストポロジー、同軸ケーブルを使用して構成されていました。
後にIEEE802.3として規格化され、光ファイバー、広周波数帯域、ツイストペアで運用するリピータなどを使って拡張する追加機能が定義されました。

ESSID（Extended Service Set ID）イーエスエスアイディー］

「SSID」（次ページ）を参照してください。

IEEE802.11

無線LANの国際的な標準規格です。
IEEE802.11aでは、通信速度が54Mbpsまで拡張されています。
また、5.2GHz帯の電波を使用します。
法令により屋外での使用は禁止されています。

Infrastructure［インフラストラクチャ］

アクセスポイントを介して通信する形態です。

MACアドレス（Media Access Control Address）

Ethernet機器ごとの固有の物理アドレスです。
MACアドレスは、先頭からの３バイトのベンダーコードと残り３バイトのユーザコードの６バイトで構成されています。
ベンダーコードはIEEEが管理／割当を行っており、ユーザコードは、Ethernet機器のメーカーが独自の番号（重複することのない）で管理を行い、世界中で単一のアドレスが割り当てられています。
Ethernetではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行っています。

Mbps（Megabits per second）［メガビーピーエス］

１秒間に伝送するデータの単位です。
54Mbpsは１秒間に54メガビットのデータを伝送できます。

OFDM［オーエフディーエム］

Orthogonal Frequency Division Multiplex。直交周波数分割多重。

SSID（Service Set ID）［エスエスアイディー］

複数の無線ネットワークが存在する場合に、それらをグループ化するための識別子（ID）です。（ESSIDと言うこともあります。）
このIDが一致していないとそのネットワークには参加できません。

TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）

主にインターネット上などで使用される基本プロトコルの１つです。

WEP（Wired Equivalent Privacy）

IEEE802.11aに含まれる標準の暗号化方式です。
各無線通信機器同士が共通の暗号鍵を使用して通信データを暗号化します。
暗号鍵を知らないパソコンは通信に参加することができません。

アクセスポイント

インフラストラクチャモード（Infrastructure mode）での通信の中継点となるポイントです。有線LANと無線LANの中継点ともなります。

チャンネル

無線通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができます。
チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のことです。

ピアツーピア接続

サーバ／クライアントのような上下関係の無い対等な関係で行う通信のことです。

ローミング機能

複数のアクセスポイントを設置した環境で、各アクセスポイントのサービスエリア間を移動した場合に、自動的にアクセスポイントを切り替える機能です。
その場合、それぞれのアクセスポイントのSS IDとWEPが同じ設定である必要があります。

仕様

●本製品の仕様

商品名	IEEE802.11a 無線LAN メディアコンバータ
製品型番	WN-A54/LAN
規格	無線部：IEEE802.11a 有線部：IEEE802.3, IEEE802.3u
周波数帯域	5.2GHz帯 （5.15～5.25GHz）
チャンネル	34ch,38ch,42ch,46ch（自動選択モードあり）
伝送速度	6Mbps, 9Mbps,12Mbps,18Mbps,24Mbps,36Mbps,48Mbps,54Mbps
変調方式	OFDM（直交周波数分割多重）IEEE802.11a準拠
無線設備の種別	小電力データ通信システム
データ到達距離（最大）	屋内：約100m ※環境条件により変化します。
セキュリティ方式	WEP（Wired Equivalent Privacy）64/128bit
DHCP	DHCPクライアント
アクセス方式	インフラストラクチャ［Infrastructure］/ アドホック［Ad hoc］
アンテナ方式	対向円偏波アンテナ（ダイバーシティ方式）
ＬＥＤ表示	インジケータ、LINK/ACTランプ
ワイヤレスユニットインターフェイス	ACユニット接続ケーブル（ワイヤレスユニット直出しのケーブル） （専用コネクタ付き） ※ACユニットの[WIRELESS UNIT]ポートのみに接続できます。
イーサネットインターフェイス	10BASE-T/100BASE-TX(RJ-45)コネクタ×１ （ACユニットの[NETWORK]ポート） MDI/MDI-X自動判別
ACユニット	入力：AC100V 出力：DC 12V
電源電圧	DC 12V±5%
最大消費電流	最大 360mA
動作温度範囲	5℃～35℃
動作湿度範囲	10%～85%（結露しないこと）
外形寸法	ワイヤレスユニット：約98(W)mm×33(D)mm×98(H)mm ACユニット：約110(W)mm×70(D)mm×25(H)mm
質量	ワイヤレスユニット：約310g（ACユニット接続ケーブル含む） ACユニット：約150g
適応規格	TELEC、VCCI class B

●本製品の出荷時設定

SS ID	[空白]
WEP	無効
ネットワーク モード	Infrastructure
チャンネル	自動選択
IPアドレスの 設定方法	IPアドレスを手動で設定する
IPアドレス	192.168.0.202
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ	0.0.0.0
ステータス インジケータ	[On]

アフターサービス

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsなど」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
Newsなど

ファームウェアをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のファームウェアをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
ファームウェア

② それでも解決できない場合は…

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…076-260-3644　東京…03-3254-1144
※受付時間　9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…076-260-3360　　東京…03-3254-9055
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1．ご使用の弊社製品名（WN-A54/LAN）
2．ご使用のパソコン本体の型番
3．ご使用のOSのバージョン
4．トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。

故障と判断された場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理について（つづき）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアル番号、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
　※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
　返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
　ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
　※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
　※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
　※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

MEMO

WN-A54/LAN 取扱説明書
2003.Feb.24　129290-01
発 行　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地

© 2003 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。